

第12回さいたま市総合振興計画推進本部会議

次 第

日 時 令和3年2月1日（月）
14：00～14：30
場 所 政策会議室
※オンライン参加含む

1 開 会

2 議 題

(1) パブリック・コメントの実施結果

(2) 素案からの修正（予定）事項

3 事務連絡

4 閉 会

【配付資料】

（タブレット端末）

- ・ 資料 1 正誤表
- ・ 資料 2 パブリック・コメントの実施結果について
- ・ 参考 3 今後のスケジュール等について

（机上配布）

- ・ 推進本部名簿
- ・ 参考 1 パブリック・コメント意見募集結果
- ・ 参考 2 目標指標の実績値の更新等に伴う修正について

本日の目的

「さいたま市総合振興計画 実施計画」の策定について、御承認をいただくものです。

正誤表

資料 1

下記のとおり、誤りがありました。お詫びして、訂正いたします。

ページ	コード	事業名	誤	正
351	52-2-1-08	保育料の収納率の向上	【5年間の財政効果額】 <u>111,743</u> 千円	【5年間の財政効果額】 <u>63,761</u> 千円

パブリック・コメントの実施結果 (1/3)

資料 2

実施期間 : 令和 2 年 1 2 月 2 5 日 (金) ~ 1 月 2 4 日 (日)

意見提出者数 : 4 4 名

意見項目数 : 1 5 3 件

意 見 種 別	項 目 数
◎ : 素案を修正する	5
○ : 計画の作成の参考にする	5
× : 素案のとおりとする (修正しない)	130
— : その他意見	13

本計画の冊子化に当たっては、分かりにくい語には用語解説を設けるなど、読みやすい計画となるよう留意します。

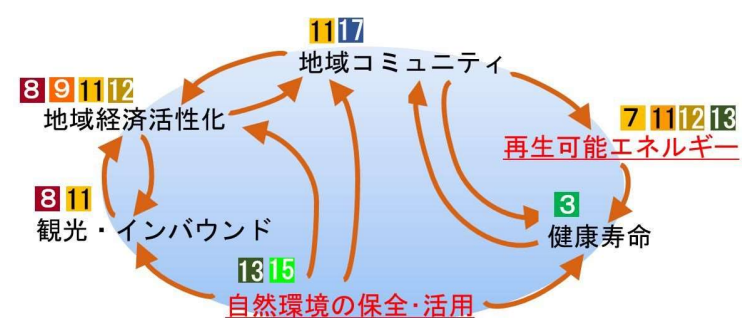
素案に賛同する旨の意思表示等 : 6 件
その他市の政策等に対する意見 : 7 件

意 見 種 別	項 目 数
①意見の趣旨が素案に含まれている	64
②具体的な取組等への意見であり、今後の行政運営に生かせるよう努める	51
本計画に取り入れることが困難であり、修正しない	15

パブリック・コメントの実施結果 (2/3)

資料 2

素案を修正する（5件）

項番	意見（概要）	修正案
1	【素案9ページ 課題同士の相互関連性のイメージ図】 9ページにある課題同士の相互関連性のイメージ図が重点戦略の戦略1戦術1の目指す方向性と異なるため、修正したほうがよい。 戦術1の関連ゴールである、⑦エネルギー・⑪住み続ける・⑫作る使う責任・⑬気候変動・⑮陸の豊かさを記した図がよいと思う。	戦術1の内容がより明確になるように御指摘の図を以下のとおり修正いたします。 
2	【素案16ページ 進行管理】 外部評価の考え方・方法が記されている一方、内部評価については評価の方法は記されているが「誰が行う」か記載されていない。	記載内容を以下のとおり修正いたします。 内部評価は、<u>市組織内で実施する自己評価として</u>、①施策評価と②事業評価を一体的に実施します。
3	【素案96ページ 「市有施設への再生可能エネルギー設備等の導入」（事業コード：02-1-1-04）】 事業目的の“災害時等のエネルギーセキュリティを確保することで、災害に強い持続可能なまちづくりを目指す”を踏まえ、以下のとおり文言の追記（下線部分）を提案する。 「公共施設マネジメント計画等に基づき、改修や建替え等を実施する市有施設を把握し、太陽光発電設備や蓄電池<u>及び天然ガスコージェネレーションシステム等</u>の設置が可能な施設への設備の導入を積極的に推進します。」	事業内容を以下のとおり修正いたします。 ・公共施設マネジメント計画等に基づき、改修や建替え等を実施する市有施設を把握し、太陽光発電設備や蓄電池<u>等</u>の設置が可能な施設への設備導入を積極的に推進します。

パブリック・コメントの実施結果 (3/3)

資料 2

項番	意見（概要）	修正案
4	【素案183ページ 「障害者の相談支援体制の強化」（事業コード：06-2-1-04）】 1 高次脳機能障害者支援事業の新規追加について 実施計画で位置付けられている発達障害者への支援と同じように、新規事業として、高次脳機能障害者支援の充実を掲載してほしい。 発達障害者支援と同じように、高次脳機能障害者支援も長期に継続して実施することが重要な事業であるから、基本計画に取り上げられた高次脳機能障害について、実施計画上の実施計画事業として、「高次脳機能障害者支援の充実」を追加してほしい。	「障害者の相談支援体制の強化」（事業コード：06-2-1-04）の事業課に、障害者更生相談センターを追加し、事業内容に以下の記述を追加いたします。 ・高次脳機能障害に関する専門的相談や研修の実施等により、当事者や家族等への相談支援体制の充実を図ります。
5	【素案277ページ 「既存建築物の耐震化促進」（事業コード：10-1-1-03） 事業内容の1点目で「旧耐震基準（建築基準法）で昭和56年5月までに建築された既存建築物の…」と記載されているが、助成金の交付対象は「さいたま市既存建築物耐震補強等助成事業要綱」により「昭和56年5月31日以前に工事に着手し、建築されたもの」と規定されている。記載内容に誤りがあるので修正が必要である。	表記については、御指摘の内容をなるべく端的に分かりやすい表現としたところですが、御指摘の趣旨を踏まえて、以下のとおり修正いたします。 ・旧耐震基準（建築基準法）で建築された既存建築物の耐震診断、補強設計、補強工事又は建替え工事を実施する建築物の所有者等に対する助成金の交付を行います。

**「さいたま市総合振興計画基本計画 実施計画（素案）」
に対する意見募集結果**

参考 1

意見 番号	意見（概要）	該当する頁等						意見に対する市の考え方	修正等の対応
		編	章	節	施策	事業 番号	頁		
1	将来都市像である「東日本の中枢都市」と具体的な施策との関係が明確ではない。首都圏の中での位置付けを将来都市像の中でイメージできるようにするべき。	1	1	-	-	-	5	御指摘の点につきましては、総合振興計画基本計画において「東日本の中枢都市」の実現に向けて集積を促進する拠点として、都心地区を位置付けるなど、広域的に見たさいたま市の役割を踏まえた整理を行っております。 本計画では、基本計画で定めた役割を実現するための具体的な事業を定めて、将来都市像の実現に向けた取組を進めてまいります。	素案のとおりといたします。
2	何より良かったのは、これまで直面したことのない「新型コロナウイルス感染症」を取り上げ、計画に関連付けていることである。コロナ感染症が、社会・経済を根底から変えていく、新たな仕組みが必要になっていくことが理解できる。	1	2	-	-	-	6	素案の内容をもとに、総合振興計画 実施計画を作成してまいります。	素案のとおりといたします。
3	策定の視点にある「新型コロナウイルス感染症への対応」について、コロナにおいては終息の見通しは不透明としている点で、何を基準とするかをここで明確にする必要がある。 行政は常にリスクを念頭に置いて対応できるような体制を作っておく必要なので、視点を体制作りに変更した方が賢明である。 主な政策的課題の3、4を一時保留として1、2を確実なものにしなければならない。そして、1、2に対する具体案を出すことが必要だ。 臨機応変としているが、後手後手に回っているのは事実であり、先を見通した対応（1の具体化と明確化）をしていくことが重要である。	1	2	-	-	-	6	新型コロナウイルス感染症の影響については、現在も終息の見通しは不透明な状況であります。今まさに直面している困難については、御指摘のとおりリスクを念頭に置き、組織や体制の柔軟な変更を含めて、その都度状況に臨機応援に対応してまいります。	素案のとおりといたします。
4	アフターコロナ、ウィズコロナ（P6）について、コロナを強調しないで、コロナをはじめとする世界規模の感染症としたほうが、今かなり流行している鳥インフルエンザにも対応できると思う。	1 4	2 6	- 3	- 1	- 2	6 193	御指摘の点は、重要な視点であると考えており、本計画においては「感染症対策の充実」（事業コード：06-3-1-02）において、コロナウイルス感染症をはじめとする新興・再興感染症への対応を位置付けております。 新型コロナウイルス感染症については、目下、喫緊に対応しなければならない課題であると認識しておりますので、引き続き取組を進めてまいります。	素案のとおりといたします。
5	「主な新型コロナウイルス感染症関連事業の位置付け」について、 ①感染症の拡大を防ぎ、生命と健康を守るのならば感染症の終息に向け能動的な働きかけが必要 ②日常の暮らしを支え、経済活動を活性化するとするのならば、コロナの終息に向けた内容にしなければ、経済活動の活性化にはつながらない。矛盾が生じてくる。 ③は必要であるがあくまでプランであり、まず終息が課題であることを知っておく必要がある。 ④も必要性は認めるが、現在はここまで広がってしまったコロナをどうするかを考えた後であり、行政が先頭に立ちコロナ終息を周知させるのが重要である。	1	2	-	-	-	7	本計画においては、計画期間である5年間を通じた課題整理として、ウィズコロナ・アフターコロナの両面から、計画期間中継続的に取り組む主要な事業を「コロナウイルス関連対応事業」として位置付けております。 今まさに直面している困難については、計画上の記載の有無にかかわらず、緊急経済対策等の国の制度も活用しながら、十分な対応をしてまいります。中でも御指摘のとおり感染症防止対策や医療提供体制の整備などはコロナ禍を終息させるための極めて重要な視点であることから、計画上も位置付けを明確化して取組を進めてまいります。	素案のとおりといたします。
6	9ページにある課題同士の相互関連性のイメージ図が重点戦略の戦略1 戦術1の目指す方向性と異なるため、修正したほうがよい。 戦術1の関連ゴールである、⑦エネルギー・⑪住み続ける・⑫作る使う責任・⑬気候変動・⑭陸の豊かさを記した図がよいと思う。	1	2	-	-	-	9	御指摘の点を踏まえて、9ページのイメージ図について、戦術1の内容がより明確になるように修正いたします。	イメージ図を修正いたします。

意見 番号	意見（概要）	該当する頁等						意見に対する市の考え方	修正等の対応
		編	章	節	施策	事業 番号	頁		
7	SDG sを計画の中に取り入れたことは評価できるが、とらえ方が間違っているのではないか。 「5 ジェンダー平等を実現しよう」「16 平和と公正をすべての人に」「17 パートナリシップで目標を達成しよう」は、単なる目標の一つではなく、すべての目標の根底にあるものであるので、もう一度それぞれの計画の中にSDG sが入っているか考え直すべき。	1	2	-	-	-	9	御指摘のSDG sにつきましては、国の最新の動向等を踏まえ「施策同士の相互関連性・相乗効果を重視しつつ、統合的解決の視点を持って取り組むこと」に重点を置いた位置付けをしており、個々の事業においては、いずれのゴールの達成に貢献するかということではなく、取組の内容の関連度合いという視点から「関連するSDG s」を選定しております。 この統合的解決の視点を意識して取組を進めることで、御指摘の「5 ジェンダー平等」なども含め、計画全体としてその達成に貢献できるものと考えております。	素案のとおりといたします。
8	各年度の実施目標は、ともすると無理強いで書かざるを得ない事態も生じられると思われる。かえって煩わしく見える。	2	1	-	-	-	16	本計画においては、施策や事業の現状を把握し、根拠に基づく要因分析によって進行管理をすることが望ましいとの考えから、指標による評価を位置付けているところです。 御指摘の趣旨を踏まえて、指標のみで評価するのではなく、要因分析を関係各課等で共有しながら、数値的な成果が計測されにくい効果についても定性的な評価が適切に行われるように工夫してまいります。	素案のとおりといたします。
9	実施計画の進捗状況をどうやってみていくのか。	2	1	-	-	-	16	実施計画については、施策ごとに設定された成果指標により、施策の進捗状況の検証及び施策を推進する事業校正の見直しの検討を行う「施策評価」と事業ごとに設定された目標により、事業の達成度の評価及び評価を踏まえた事業改善の検討を行う「事業評価」を中心に進行管理を行ってまいります。 また、市民目線や各分野の有識者により構成される「外部評価委員会」を設置し、専門的見地に基づく施策の進捗状況及び事業の実施状況を検証し、施策・事業をより効果的・効率的に進めていくための改善策を提案する「外部評価」を行ってまいります。	素案のとおりといたします。
10	実施計画が5年のスパンなら、中間年ぐらいに報告会を開催して進捗状況を市民に示してみても、何が有用で、何が無駄かが見えてよいのではないかと。	2	1	-	-	-	16	御指摘のとおり、計画の進行に関して市民の皆様の御意見を伺っていくことは非常に重要であると考えており、計画の進行管理手法として、市民参加による評価等を行うことを予定しております。 御意見については、それらの取組を進める上での参考とさせていただきます。	素案のとおりといたします。
11	17ページに外部評価の考え方・方法が記されている一方、16ページにある内部評価については評価の方法は記されているが「誰が行う」が記載されていない。	2	2	-	-	-	16 17	御指摘を踏まえて、素案を修正いたします。	P16 記載内容を以下のとおり修正いたします。 <u>内部評価は、市組織内で実施する自己評価として、①施策評価と②事業評価を一体的に実施します。</u>
12	戦術1「先進技術で豊かな自然と共存する環境未来都市の創造」について、必要箇所を限定せず共存するために必要なインフラ整備の仕方、都市開発を具体的に必要がある。そこにかかる金額（予算）を同時に載せないと比較ができにくく、どこに予算を上げるべきか不透明になる。	3	1	-	重点1	戦術1	25	本市では、市街地における都市基盤の整備等を図るとともに、河川等の自然環境の保全・活用に取り組むことで、市街地と自然環境がバランスよく配置された都市構造を目指しております。 御指摘については、今後の行政運営に生かせるよう努めてまいります。	素案のとおりといたします。

意見 番号	意見（概要）	該当する頁等						意見に対する市の考え方	修正等の対応
		編	章	節	施策	事業 番号	頁		
13	該当箇所 26ページ ゼロカーボンシティ実現に向けた地域循環共生圏の構築＜重点取組内容＞ 次期さいたま市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）との関連を踏まえ、以下のとおり文言の追記を提案する。 「持続可能なエネルギーを確保するため、再生可能エネルギー等の普及を促進するとともに、エネルギー高度利用技術として、<u>天然ガスコージェネレーション及び燃料電池の導入促進</u>、ごみ発電による低炭素な電力や卒FITの余剰電力を公共施設で有効活用するなど、積極的な導入を進めます。また、コロナ禍における経済停滞からの回復に併せて、脱炭素社会に向けた温暖化対策をさらに推し進めるグリーンリカバリーの視点も踏まえ、再エネ等の利用拡大を通じた「地域循環共生圏」実現に向けた取組を推進します。」	3	1	-	重点1	戦術1	26	御指摘いただいた天然ガスコージェネレーション及び燃料電池について、「再生可能エネルギー等」として表記させていただいております。 御意見を参考に、今後の施策を進めてまいります。	素案のとおりといたします。
14	K P I（関連する成果指標）の「見沼田圃に魅力を感じる市民の割合」については全市民への調査が必要である。	3	1	-	重点1	戦術1	27	現在のアンケート調査につきましては、市内在住の18歳以上80歳未満の方から、統計的な精度を踏まえた標本調査として5,000人を無作為抽出し、調査票を送付しています。 御指摘については、今後の参考とさせていただきます。	素案のとおりといたします。
15	K P I（関連する成果指標）の「水辺や緑地の保全・再生活動に関心がある市民の割合」については具体的に数字として出す必要がある。	3	1	-	重点1	戦術1	27	御指摘を参考に計画を作成してまいります。	御指摘を参考に計画を作成してまいります。
16	K P I（関連する成果指標）の「市民1人（1世帯）当たりの温室効果ガス排出量」については何を基準として計算するののかも説明する必要がある。	3	1	-	重点1	戦術1	27	御指摘を参考に計画を作成してまいります。	御指摘を参考に計画を作成してまいります。
17	K P I（関連する成果指標）の「健康寿命（65歳に達した市民が健康で自立した生活を送ることができる期間）」について、政府の70歳まで働かせる方針との整合は図られているのか。	3	1	-	重点1	戦術2	29	健康寿命の延伸は、介護予防やフレイル対策、認知症予防等の生活の質の向上を見込むものです。 一方、御指摘の70歳までの就業機会の確保等は、高齢者の雇用の安定等を目指したものと解しており、健康寿命の延伸と直接的に連動したものではないと認識しております。	素案のとおりといたします。
18	重点戦略1の戦術5にある「対流拠点都市」という言葉について、読んだだけでは意味が分からないため、何か別の言葉に置き換えたほうがよい。	3	1	-	重点1	戦術5	36	市民や事業者等、地域で活動する多様な主体に対して示す計画として、分かりやすい表記とすることは重要であると考えております。 本計画の冊子化に当たっては、分かりにくい語には用語解説を設けるなど、読みやすい計画となるよう留意いたします。	御指摘を参考に計画を作成してまいります。
19	戦術5「ヒト・モノ・情報を呼び込み、東日本の未来を創る対流拠点都市の創造」については否定しないものの、西大宮駅東口の開発や川越線の複線化を重大な計画としながら、事業計画に載せていないのは何故かの説明をする必要がある。地域住民からは不満の声が出ていることを行政は理解しているのか。 現状、西区の住民は増えていて川越線の利用率も上がっているのに、その必要性に対して何も調査していないととらえている人が多いので、同時に対応する必要がある。 用地の確保等も念頭に入れるのであれば、岩槻区よりも西区を優先すべきである。	3 4	1 9	- 2	重点1 2	戦術5 6	36 255	重点戦略1戦術5については、本市の地理的優位性を生かし、都市基盤の整備や広域的な交通網の強化などを進める考えです。 川越線の複線化は、鉄道事業者が管轄する事業であり、事業者からは「今あるまちづくりの計画を勘案しても複線化が必要な状況ではない」との見解が示されています。そのため、本計画には位置付けておりませんが、将来の複線化に向け、事業者に対する要望は継続して行ってまいりたいと考えております。 西大宮駅北口においては、土地区画整理事業が施行され、平成29年に換地処分が完了しています。南口においては、災害に強い安全で快適なまちづくりを行うため、平成17年度から指扇土地区画整理事業を施行しており、「市街地開発事業の推進（市施行土地区画整理事業）」（事業コード：09-02-02-06）に目標を掲げております。	素案のとおりといたします。

意見 番号	意見（概要）	該当する頁等						意見に対する市の考え方	修正等の対応
		編	章	節	施策	事業 番号	頁		
20	計画とSDG sの関係について、各事業については、ゴールではなく169のターゲットとの関係で整理したほうが、SDG sの目標と事業との関連性がより分かりやすくなるのではないか。	4	-	-	-	-	64	御指摘の「SDG sについて、各事業と169のターゲットの関係を整理すべき」という点につきましては、SDG sの各ゴールが掲げる169のターゲットが国際目標として整理されたものであり、地方自治体の取り組む事業とは必ずしも整合していないことから、各事業においてもSDG sの目指す基本的な方向性である17のゴールに基づいた関係を整理しております。	素案のとおりといたします。
21	重点戦略の横断的視点である「Society5.0の実現」が目指すのは、SDG sでも提唱されている「誰一人取り残されない社会」を実現するために最新のテクノロジーを活用して「下記○」を行うと理解している。 ① I o T活用で地域のサービス格差を埋める ② A I活用によりデータを正確に読み解く ③ A I活用により様々なシステムを効率化する ④障害や年齢による行動の制限を取り払う SDG sは目標を決めて行動を計りながら進めるものなので、各事業の項のうち、今回の実施計画事業でSociety5.0に関係して進める事業（P64からの事業一覧表）への表示（例：枠So-5.0、対象○等）を記載することはできないか	4	-	-	-	-	64	御指摘のSociety5.0については重要な視点であると考えており、様々な分野において横断的にA I、I o T、ロボット、自動運転などの先進技術を取り入れ、重点戦略を効果的に推進してまいります。 各事業において進める取組を分類して記載すべきとの御意見につきましては、広範多岐にわたるSociety5.0のテクノロジー活用領域が体系化されておらず、各事業との関連付けが難しいため、このような整理については、今後の検討課題とさせていただきます。	素案のとおりといたします。
22	「男女共同参画の推進」（事業コード：01-2-2-01）について、今後新型コロナウイルス感染症がさらに威力を強める恐れがある。その中で講座の実施を増やしていくのは少々難しいと考える。	4	1	2	2	1	85	本計画における「男女共同参画の推進」（事業コード：01-2-2-01）の実施に当たっては、オンラインでの開催等、新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮した開催方法も取り入れ、講座を充実させてまいります。	素案のとおりといたします。
23	「男女共同参画の推進」（事業コード：01-2-2-01）について、男女共同参画は、推進センターの運営だけでは進まないで、庁舎内でジェンダー平等が実現しているか、市政において男女共同参画が進んでいるかを考えるべき。 人権政策・男女共同参画課がそのチェック機関であるはず。センターの事業だけにとどまらない事業内容にしてほしい。	4	1	2	2	1	85	本計画における「男女共同参画の推進」（事業コード：01-2-2-01）の実施の中で、市長を本部長とする男女共同参画推進本部会議の開催等による進捗管理を行うことで、御指摘の「市政における男女共同参画の推進」を図ってまいります。	素案のとおりといたします。
24	「男女共同参画の推進」（事業コード：01-2-2-01）について、講座内容の理解度は指標として何の意味もないので、講座の回数や参加人数を指標にすべき。 講座の実施件数も120万の人口のさいたま市で5年間で163回なんて目標が小さすぎ、推進する気がないかと思えない。 現在の到達点では、男女共同参画の推進の指標は、女性の管理職の登用率しかありえない。	4	1	2	2	1	85	各事業の目標指標の設定にあたっては、事業の質や成果を測ることができるアウトカム指標を主に設定しております。 個別具体的な指標設定に関するご意見については、今後の参考とさせていただきます。 また、講座の実施件数については、団体活動・交流支援の充実の観点の指標として、団体等と協働で実施した講座等のみの件数であり、その他の主催講座等の件数は含んでおりません。	素案のとおりといたします。
25	「審議会等委員への女性の登用促進」（事業コード：01-2-2-02）について、この7年の間に37%～38%を保ったまま。ここからどのようにして女性登用率を上げていくのか。初めに機関や委員会内の認識を変えることが大切だと考える。	4	1	2	2	2	85	本計画の「審議会等委員への女性の登用促進」（事業コード：01-2-2-02）における女性登用率向上のための取組として、市長を本部長とする男女共同参画推進本部会議を定期的に開催するほか、所管課との事前協議の実施、登用計画書の作成などを実施し、審議会等への女性登用を促進してまいります。	素案のとおりといたします。
26	「審議会等委員への女性の登用促進」（事業コード：01-2-2-02）について、さいたま市や選出団体の努力によって、女性の登用が進んだことは大変喜ばしいことだが、全体の比率だけでなく、一つひとつの審議会の比率をみるべき。 ほかの啓蒙のための講座の施策で、目標指標が低すぎるのと、講座内容の満足度しかとっていないのが気になる。	4	1	2	2	2	85	個別の審議会等への女性登用率についても、目標の42%に満たない場合は、委員の改選や交代等の際に事前協議を行い、女性登用率の向上につながるよう努めてまいります。 各事業の目標指標の設定にあたっては、事業の質や成果を測ることができるアウトカム指標を主に設定しております。 また、個別具体的な指標設定に関する御意見については、今後の参考とさせていただきます。	素案のとおりといたします。

意見 番号	意見（概要）	該当する頁等						意見に対する市の考え方	修正等の対応
		編	章	節	施策	事業 番号	頁		
27	女性たちも必死で働かないと食べられないという経済状況になっている。そんな性たちを一人でも救ってくれるジェンダー平等の施策をさいたま市に求める。	4	1	2	2	1 2	85	御指摘の点については、重要な視点だと考えており、本計画においても「男女共同参画の実現」（施策コード：01-2-2）を掲げ、「男女共同参画の推進」（事業コード：01-2-2-01）、「審議会等委員への女性の登用促進」（事業コード：01-2-2-02）を位置付けております。	素案のとおりといたします。
28	事業コード 02-1-1-01 事業名 市民・事業者との連携による省エネ・創エネ化の促進 計画に賛同する。 なお、昨今の自然災害における感染症対策での課題も踏まえ、「自助」による災害時の在宅避難のためには最低限の電力の確保を各世帯に普及させることが重要であるので、施策の推進に当たっては、昨今のコロナ禍での課題を踏まえた取組をお願いしたい。	4	2	1	1	1	95	御意見を参考に今後の施策を進めてまいります。	素案のとおりといたします。
29	事業コード 02-1-1-03 事業名 ゼロカーボンシティ実現に向けた地域循環共生圏の構築 次期さいたま市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）との関連を踏まえ、以下のとおり文言の追記を提案する。 「持続可能なエネルギーを確保するため、再生可能エネルギー等の普及を促進するとともに、 <u>エネルギー高度利用技術として、天然ガスコージェネレーション及び燃料電池の導入促進</u> 、ごみ発電による低炭素な電力や卒FITの余剰電力を公共施設で有効活用するなど、積極的な導入を進めます。」	4	2	1	1	3	96	御指摘いただいた天然ガスコージェネレーション及び燃料電池について、「再生可能エネルギー等」として表記させていただいております。 御意見を参考に、今後の施策を進めてまいります。	素案のとおりといたします。
30	事業コード 02-1-1-04 事業名 市有施設への再生可能エネルギー設備等の導入 事業目的の“災害時等のエネルギーセキュリティを確保することで、災害に強い持続可能なまちづくりを目指す”を踏まえ、以下のとおり文言の追記を提案する。 「公共施設マネジメント計画等に基づき、改修や建替え等を実施する市有施設を把握し、太陽光発電設備や蓄電池及び天然ガスコージェネレーションシステム等の設置が可能な施設への設備の導入を積極的に推進します。」	4	2	1	1	4	96	御指摘いただいた天然ガスコージェネレーションも含め、事業名を「再生可能エネルギー設備等」として表記させていただいておりますので、御指摘内容に即した修正を行います。	P96 「太陽光発電設備や蓄電池」を「太陽光発電設備や蓄電池等」に修正します。
31	ゼロカーボンシティ実現に向けた地域循環共生圏の構築について、コロナとは分離させて検討する方が望ましい。なぜなら、ワクチン接種の効果は、半年間では副作用の検証もできていないため、住民すべてに行き渡らせることも治療薬の開発も目途がたっていないのが現状である。	4	2	1	1	3	96	新型コロナウイルス感染症による経済活動の低下に伴い、温室効果ガス排出量は大きく低下しています。今後、経済活動の活発化に伴い排出量も増大するものと考えられますので、ゼロカーボンシティ実現に向けた取組は新型コロナウイルスと密接不可分な関係にあると考えております。	素案のとおりといたします。
32	電力の地産地消、自立・分散型エネルギーシステムの構築について、日照時間の長さ以外には自然条件に恵まれないさいたま市でできることは限られる。 市民・市内企業への啓発をより重点化したほうがよいと思う。そのためには取組を可視できる仕掛けが欲しい。 例えば埼玉県では「非化石証書を活用した埼玉県産CO2オフセット電力メニューの創出」というプロジェクトをスタートさせているので、こんなことも参考にして計画開始後になってもいいから、そのような仕掛けを企画してほしい。	4	2	1	1	3	96	電力の地産地消、自立・分散型エネルギーシステムの構築について、御指摘の「市民・市内企業への啓発をより重点化」することは重要な視点であると考えており、「ゼロカーボンシティ実現に向けた地域循環共生圏の構築」（事業コード：02-1-1-03）では、そのような視点も踏まえながら事業を展開していく予定です。 個別具体的な取組の御提案については、今後の事業実施の中で生かせるよう努めてまいります。	素案のとおりといたします。

意見 番号	意見（概要）	該当する頁等						意見に対する市の考え方	修正等の対応
		編	章	節	施策	事業 番号	頁		
33	「E-KIZUNA Projectの推進」（事業コード：02-1-1-05）について、コロナを終息させなければ経済の回復どころか現状が更に深刻になるのが目に見えているが、どのような自動車を想定しているのか。バッテリー自動車のことを言っているのであれば10年で寿命になり再生は余計難しくなるのだがそのことも想定しているのか。 民間事業者による生活支援サービス等とは何を指しているのか。	4	2	1	1	5	97	本市では、電気自動車、天然ガス自動車、ハイブリッド自動車、燃料電池自動車、プラグインハイブリッド自動車を次世代自動車と位置付けております。 エネルギーセキュリティの観点から、多様なエネルギーを揃えておくことが重要と考え、電気自動車を含む、次世代自動車普及施策を推進しています。 民間事業者による生活支援サービスとは、市民生活を構成する様々な分野を対象に、市民生活が質の向上につながるサービスであり、一例を挙げますと、市内で展開しているシェアサイクルなどになります。	素案のとおりといたします。
34	「生物多様性の保全の推進」（事業コード：02-3-1-01）について、ビオトープは花の丘公園にもあるが、整備観察など予算が削られており現状を公開していないのでさいたま市全域に現状を解りやすくする必要がある。	4	2	3	1	1	107	生物多様性の保全においては、公園等でのビオトープの整備や市民等による自然観察が重要であると考えております。 御指摘の大宮花の丘農林公苑のビオトープにつきましては、ふるさと環境の維持、身近な動植物の保全を図るため、施設維持を目的とした修繕を実施しております。 御指摘を踏まえて、今後も市民の皆様に現状を分かりやすく伝えていけるよう努めてまいります。	素案のとおりといたします。
35	「指定緑地等の保全・整備」（事業コード：02-3-1-02）について、SDGsの観点から積極的に緑を増やす意識をもつことが社会的に求められているので、良好な自然環境を有する緑地を整備、あるいは、市民協働で樹木等を推進することについて、各区ごとに新規案件数を年度ごとに目標値を設定してほしい。	4	2	3	1	2	107	市内の緑地を保全・創出することは、SDGsの観点からも、豊かな市民生活を形成する上で重要と考えております。 区ごとの新規案件の目標設定につきましては、都市化の進展等により一律に設定することは困難ですが、御指摘の点を踏まえ、各区の特性を生かした緑の保全創出を市民とともに引き続き取り組んでまいります。	素案のとおりといたします。
36	ここ数年、人口がとても増えて住宅も増えたが、緑は減って、公園はあまり増えていない。 自然や季節を感じ、豊かな心を育むことが年寄りに子供たちにも必要なので、緑と自然を身近に感じて生活できる街を目指してほしい。 雑木林が減ったのも、相続や固定資産税の関係もあると思うので、減らないようにさいたま市が計画的に守ることが重要だ。	4	2 9	3 2	1 1	2 2	107 245	公園や雑木林などの身近な緑は、良好な都市景観だけでなく、ストレス緩和やコミュニケーション、防災・減災などの多様な機能を有しており、御指摘のとおり、豊かな生活環境を形成していく上で必要なものと考えており、引き続き保全・創出に取り組んでいくため、本計画においては「指定緑地等の保全・整備」（事業コード：02-3-1-02）、「街なかにおける緑の創出」（事業コード：09-2-1-02）として関連する事業を位置付けております。 御指摘については、これらの事業を推進する際の参考とさせていただきます。	素案のとおりといたします。
37	見沼区に半世紀ほど住んでいるが、自然環境などは当時に比べると、跡形もなく姿を消している。田んぼだけは江戸時代からの伝統を守り、少しも減らすことなくその営みもしっかりと守られてきている。 事業の計画案を見ると、何故こんなことがすんなりとできているのか不思議でならない。宮ヶ谷塔の人たちも、何故このような大問題を地元住民の考えだけで終わらせようとしているのかもわからない。私も農家の生まれだが、長きにわたって田畑を死守してきた農民達の生きざまをよく知っている。素案についての要望はいろいろとあるが、今回は私のような考えを持っている人間が生きているということを伝えておく。	4	2 11	3 3	1 2 1	2 1 2	107 111 315	御指摘の点について、見沼田圃や斜面林などの豊かな自然や農地は、本市のかけがえのない資産であり、引き続き保全・活用を図るため、本計画では「指定緑地等の保全・整備」（事業コード：02-3-1-02）、「見沼田圃の保全と新たな活用・創造の推進」（事業コード：02-3-2-01）、「効率的かつ安定的な農業経営の実現」（事業コード：11-3-1-02）等として、関連する事業を位置付けております。 御指摘については、これらの事業を推進する際の参考とさせていただきます。	素案のとおりといたします。
38	「見沼田圃の保全と新たな活用・創造の推進」（事業コード：02-3-2-01）について、見沼のほかにも史跡等があるため、それらを一覧化してどのように保存して対応するかが見えてこない。 都市開発と自然の調和は難しいため誰にでも見えるように解るようにする必要がある。	4	2	3	2	1	111	御指摘のとおり都市開発と自然の調和に関しては、見沼田圃にとって大変重要なテーマであると考えております。 このことを踏まえ、見沼田圃基本計画アクションプランの策定に際しては具体的な施策を分かりやすく提示したいと考えております。 御指摘については、事業を推進する際の参考とさせていただきます。	素案のとおりといたします。

意見 番号	意見（概要）	該当する頁等						意見に対する市の考え方	修正等の対応
		編	章	節	施策	事業 番号	頁		
39	江戸時代に活用された大宮から東浦和近辺までの広大な土地を何故放置したままなのか不思議でならない。 見沼の地図を作成しても、どこがどのコースかさっぱり分からないから無駄である。 たとえば、フランスのルーブル美術館のように何日もかけて見るような日本のすべてを集めた世界的な美術館を作るとか、世界一の花畑や（花の博物館）アスレチックを作るとか、一日中遊べる空間を自然の中に作るなど、見沼をさいたまの目玉にすることを考えていただきたい。	4	2	3	2	1	111	見沼田圃は、首都圏に残された貴重な平地的大規模緑地空間であり、これまで地元の方々の営農の努力によって保たれてきた田圃や畑などの農地、河川や見沼代用水など豊かな自然環境が残り、良好な田園風景を形成しております。 この点を踏まえつつ、来訪者の散策・レクリエーションの場としての環境整備にも努めてまいりたいと考えております。 御指摘については、事業を推進する際の参考とさせていただきます。	素案のとおりといたします。
40	「地域・家庭・学校が連携した食を通じた健康づくり」（事業コード：03-1-1-02）について、地産 地消推進の取組（農情報ガイドブックの作成・配布、地場産農産物料理講習会の開催 等）を実施するのは現状は難しいはずだが見解は。	4	3	1	1	2	120	御指摘の「地産地消の取組」については、市内農業振興策として重要な取組であると考えており、本計画においては、「地域・家庭・学校が連携した食を通じた健康づくり」（事業コード：03-1-1-02）を位置付けております。取組の際は新型コロナウイルス感染症の状況を考慮しながら実施してまいります。	素案のとおりといたします。
41	「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の推進」（事業コード：03-1-1-03）について、医療・介護のデータから地域の健康課題を把握し、フレイル予防等を目的とした個別的な保健指導は、誰がどのようにやるのか。	4	3	1	1	3	121	御指摘の点について、年金医療課の保健師が健康課題を把握し、事業の企画・立案を行います。 個別的な保健指導については、市が委託する事業者の保健師等が訪問や電話などにより保健指導を行うこととしており、必要に応じて医療機関や健康診査の受診勧奨や、介護予防教室の紹介などを実施してまいります。	素案のとおりといたします。
42	「健康マイレージの拡大」（事業コード：03-1-1-06）について、楽しみながらウォーキングする機会はどうやって増やのか。	4	3	1	1	6	122	健康マイレージポイントや景品などのインセンティブを適宜見直すことや、民間企業や他の事業等と連携することなどで楽しみながらウォーキングする機会を増やせるよう努めてまいります。	素案のとおりといたします。
43	国際マラソンから脱皮したので、サポート人員等を考慮して令和4年以降フルマラソンではなく、ハーフマラソンにした方がよい。 その上で主な大学へ案内するか、人気の青学か早大か東洋大の選手を安価な費用で3～4名招待する。ルーテル学院が青山学院の指定校になりその前を走るのも新趣向だ。	4	3	2	1	2	126	御指摘の「ハーフマラソン」につきましては、子どもから大人まで、また初心者から上級者まで、多くの市民が楽しめる「ランニングイベントの開催」（事業コード：03-2-1-02）に関する取組内容を検討する上で、参考にさせていただきます。	素案のとおりといたします。
44	ランニングイベントの開催とはどのイベントなのか。マラソンはお金がかかるはずだが予算に応じた経済効果が見込めるのか。	4	3	2	1	2	126	御指摘の「ランニングイベントの開催」（事業コード：03-2-1-02）につきましては、令和3年度は「ファンラン」、令和4年度は、フルマラソンを含めたランニングイベントの開催を検討しております。 どちらのイベントにつきましても、子どもから大人まで、また初心者から上級者まで、多くの市民が楽しめるランニングイベントの開催を検討しており、経済効果につきましても、検討する上で、重要な視点の一つと考えております。 御指摘につきましては、当該事業を推進する際の参考とさせていただきます。	素案のとおりといたします。
45	（特に強力推進していただきたい事項） 127、128、129ページ 08-2-1 04、05、07 国際的なサッカー、オリンピック、自転車競技は、市民の夢が大きく育つ。	4	3	2	1	5 7	127 128 129	御指摘の点は重要な視点であると考えており、本計画においても関連する事業として「サッカーのまちづくりの推進」（事業コード：03-2-1-04）、「東京2020大会に向けた気運醸成」（事業コード：03-2-1-05）、「国際自転車競技大会の開催支援」（事業コード：03-2-1-07）などを位置付けております。 御指摘については、これらの事業を推進する際の参考とさせていただきます	素案のとおりといたします。
46	ランニングイベントについて、健康マイレージも実施しているので、ぜひウォーキングイベントも入れてほしい。	4	3	2	1	6	128	御指摘の点は、本計画の中で「さいたまスポーツコミッションの支援」（事業コード：03-2-1-06）において、ウォーキングイベントの開催を位置付けております。 御指摘については、当該事業を推進する際の参考とさせていただきます。	素案のとおりといたします。

意見 番号	意見（概要）	該当する頁等						意見に対する市の考え方	修正等の対応
		編	章	節	施策	事業 番号	頁		
47	「国際自転車競技大会の開催支援」（事業コード：03-2-1-07）について、予算等を考慮するなら必要性を確認する必要がある。 この取組をするならば、ほかに予算を当てた方がよい。また、オリンピック自体が最悪開催されないことも視野に入れ、いつでも方向転換できる内容にしておくべき。	4	3	2	1	7	129	事業の必要性と予算等を考慮して事業を推進することは重要な視点であると考えており、国際自転車競技大会の開催支援は、本市のスポーツ振興や、自転車まちづくりの醸成に寄与するものと認識しております。 また、オリンピックの開催の可否は、本市のイベント事業にも影響するものと考えております。今後も市政推進に当たっては、御指摘の趣旨を踏まえて取り組んでまいります。	素案のとおりといたします。
48	スポーツ施設の整備・改修や身近な公園の整備推進について、作りっぱなしでなく、その後の毎年の維持費・メンテナンス費を確保してほしい。 例えば、「六辻水辺公園」は、草取りくらいはされているようだが、文蔵地区や根岸地区では単にどぶ川化して「憩い」にふさわしいとは思えない。 大宮公園は、無秩序に木々が植えられているように見え、日照が悪いので改修を望む。	4	3 9	2 2	1 1	10 4	130 247	「スポーツ施設や公園の維持費・メンテナンス費を確保してほしい」との御指摘については、重要な視点であると考えており、事業を進める上では、予算の範囲において維持管理及びメンテナンスに努めております。 六辻水辺公園については、ご意見を踏まえ憩いの場となるよう維持管理に努めてまいります。 また、御指摘の大宮公園については、県営公園であるため、御意見として埼玉県に伝えさせていただきます。	素案のとおりといたします。
49	「ＩＣＴを活用した学びの改革」は無駄なのでやめるべき。 現場の教員、特に管理職はＩＣＴ機器に疎く、教員のトレーニングをする時間もない。 教育に何か変革をと思うなら教育課程を見直してほしい。 ＩＣＴ機器を買い与えるだけが政策ではない。「全生徒にタブレット端末を」など狂気であり、税金の無駄遣いである。	4	4	1	1	2	135	御指摘については、「ＩＣＴを活用した学びの改革」（事業コード：04-1-1-02）を推進する際の参考とさせていただきます。	素案のとおりといたします。
50	（特に強力推進していただきたい事項） 136ページ 04-1-1-03 ＳＴＥＡＭＳ教育 教育は最重要。地域魅力に欠かせない。	4	4	1	1	3	136	御指摘については、「さいたまＳＴＥＡＭＳ教育の推進」（事業コード：04-1-1-03）を推進する際の参考とさせていただきます。	素案のとおりといたします。
51	事業コード 04-1-2-07 事業名 ＳＤＧｓの実現を目指した教育の推進 記載に賛同する。 昨今、多くの民間企業においては、社会における様々な課題とその解決に向け、SDGsへの貢献の観点も踏まえた、次世代向け教育支援活動に力を入れている。学校・家庭はもとより「地域企業との連携」も含めた「社会に開かれた学校の推進」が一層重要であると考え。 また、事業課に都市経営戦略部を追加する事を提案する。	4	4	1	2	7	143	御指摘のSDGsへの貢献の観点も踏まえた「社会に開かれた学校の推進」につきましては、重要な視点であると考えており、本計画の「SDGsの実現を目指した教育の推進」（事業コード：04-1-2-07）に考え方を含めております。 また、事業課に都市経営戦略部を追加するという御提案につきましては、都市経営戦略部では、SDGsの理念の実現に向けた市役所全体の統括及び総合調整をする役割として、当該事業の推進も含め、関係部署との必要な連携を図っております。	素案のとおりといたします。
52	実施を期待している事業 04-1-2-08 主権者教育の推進 04-1-2-09 人権教育の推進 04-1-3-02 図書館を通じた生涯学習環境整備の推進 05-1-2-02 犯罪被害者等支援の拡充 06-2-2-03 子どもに対する学習機会と居場所の提供 指標が具体的に良いと思う。 07-1-2-03 放課後児童クラブの拡充 ぜひ拡充してほしい。目標達成を期待する。	4	4	1	2	8	143	御意見を参考に、計画を進めてまいります。	素案のとおりといたします。
		4	4	1	2	9	144		
		4	4	1	3	2	147		
		4	5	1	2	2	167		
		4	6	2	2	3	190		
		4	7	1	2	3	203		
53	（特に強力推進していただきたい事項） 147ページ 04-1-3-01 高度専門多様な学習要求に応える高齢者が積極的に参加できるよう誘導する。見守り必要な高齢者の低減に繋がる。	4	4 6	1 1	3 1	1 2	147 175	御指摘の点は、重要な視点であると考えており、本計画においては「さいたま市民大学事業の推進」（事業コード：04-1-3-01）のほか、「セカンドライフの充実」（事業コード：06-1-1-02）において、高齢者の方の生涯学習の一環として、「さいたま市シニアユニバーシティ」の取組を位置付けております。 御指摘については、これらの事業を推進する際の参考とさせていただきます。	素案のとおりといたします。

意見番号	意見（概要）	該当する頁等						意見に対する市の考え方	修正等の対応
		編	章	節	施策	事業番号	頁		
54	公民館が市内に60館あるのであれば、もっと地域との連携を促す形で講座を組んでいただきたい。 一部の方々の居場所のようになっているので、もっと開かれた場所であってほしい。 ただの留守番の職員を配置するのではなく、地域の人材を活かしてはどうだろうか。少なくとも予算を人件費だけではなく、講座の企画の実施に使っていただきたい。 目標の数字だけ羅列されても、あまり意味もないような気がする。公民館ばかりではなく、図書館は大いに利用されているだろうが、本を借りる、新聞を読むなどだけではない、図書館らしく、博物館らしい事業を期待したい。 それらのことを明記して、ぜひ実践してほしい。	4	4	1	3	2 3 4	147 148	御指摘の公民館における地域との連携については、重要な視点であると考えております。本計画においては「子どもの学び・親子の育ちの支援の充実」（事業コード：04-1-3-03）の中で講座や地区文化祭等における中・高生ボランティアの参加する事業などで対応しております。 また、図書館及び博物館についても、同様の考え方で「図書館を通じた生涯学習環境整備の推進」（事業コード：04-1-3-02）及び「博物館・美術館・科学館を通じた生涯学習環境整備の推進」（事業コード：04-1-3-04）で関連する事業を位置付けております。 御指摘については、これらの事業を推進する際の参考とさせていただきます。	素案のとおりといたします。
55	科学館の利用について、小学校での団体利用を社会科見学のように取り入れてほしい。	4	4	1	3	4	148	御指摘の点は、重要な視点であると考えており、本計画においては「博物館・美術館・科学館を通じた生涯学習環境整備の推進」（事業コード：04-1-3-04）として、関連する事業を位置付けております。 御指摘については、当該事業を推進する際の参考とさせていただきます。	素案のとおりといたします。
56	「生涯学習人材バンクの推進」（事業コード：04-1-3-06）について、高齢者の方々が人生の経験値を活かして講師登録をすると解釈するが、この講師登録は、もっと高いレベルでもいいのではないか。 また、横断的なつながりで言えば、健康に関する部署と連携し、講師登録を促してもらうとか、単独ではなく、高い目標を設定したらいいのではないか。	4	4	1	3	6	149	生涯学習人材バンクについては、講師の方が持つ専門的な知識や技能、経験等を生かして、生涯学習の振興と豊かなつながりを創出することを目的としております。 そのため、御指摘のとおり、健康や子育て、文化、スポーツ等、生涯学習に関連する部署との連携を図り、講師登録を促進してまいりたいと考えております。 御指摘については、事業を推進する際の参考とさせていただきます。	素案のとおりといたします。
57	人生100年時代を輝き続ける力の育成(事業コード：04-1-3-06) 人材バンク登録者の募集は簡単ではないと聞いているので、その方策について提案する。 市内の県立、市立高校、大学（埼玉大学）の卒業生や同窓会へ協力を呼びかける。さいたま市民大学があるが、OBへの呼びかけも考えられる。 社団法人日本産業退職者協会（JARP／日退協）との提携も考えられる。 さいたま市内には上場企業の社宅が多く存在し、子供たちがここで成長して自宅を取得するケースも多いので、さいたま市に居住の同協会所属企業退職者に呼びかけることを提案する。 公益社団法人 日本産業退職者協会(jarp.or.jp)は、シニアの生きがいと、心身の健康をサポートすることを目的としており、それを達成するため、様々な事業活動に取り組んでいる。その事業展開の根底に流れる合言葉は“社会貢献”である。	4	4	1	3	6	149	生涯学習人材バンクについては、講師の方が持つ専門的な知識や技能、経験等を生かして、生涯学習の振興と豊かなつながりを創出することを目的としております。 さらに、生涯学習人材バンクによって、自分の経験や学びを地域社会の中で役立てることは、シニア世代の方々の生きがいを高めていくことにも結び付くものと考えております。 御提案のとおり、今後も様々な機会を通じて、企業退職者の方も対象に含めて、講師募集の方策を実施してまいりたいと考えております。 御指摘については、事業を推進する際の参考とさせていただきます。	素案のとおりといたします。
58	「生涯学習人材バンクの推進」（事業コード：04-1-3-06）について、 目標指数の各年度の目標は、令和2年度は3ヵ月にわたり、マッチングは行われていない現状があり、現在も夜間は利用できないことから、令和2年度比5%増とする令和3年度の目標は根本的に成り立たない。	4	4	1	3	6	149	生涯学習人材バンクについては、講師の方が持つ専門的な知識や技能、経験等を生かして、生涯学習の振興と豊かなつながりを創出することを目的としております。 コロナ禍で施設が休館した場合においても、市民の学習機会の確保を図るために、令和2年度はオンラインでの講座を実施できる講師を選定し、登録者名簿や生涯学習情報システムで情報提供を行っております。また、令和3年度以降についても、コロナの収束が不透明な状況となっていることを踏まえ、令和2年度実績を基準としてマッチング件数の増加を図っていく指標設定としております。 御指摘については、事業を推進する際の参考とさせていただきます。	素案のとおりといたします。

意見番号	意見（概要）	該当する頁等						意見に対する市の考え方	修正等の対応
		編	章	節	施策	事業番号	頁		
59	「部活動指導員配置の推進」（事業コード：04-1-5-02）について、目標指標は教員のアンケートだけでなく、具体的な配置人数などもあったほうがよい。 この項目以外にも教員の負担軽減の観点があれば良いと感じた。	4	4	1	5	2	157	目標指標については、部活動指導員を配置することで得られる効果として、児童生徒及び教職員の観点でそれぞれ設定しております。 御指摘いただいた観点については、今後事業を推進する際の参考とさせていただきます。	素案のとおりといたします。
60	事業コード 04-1-5-03 事業名 学校のリフレッシュ計画及び学校トイレの洋式化等の推進 記載に賛同する。更に、“コロナ禍における大規模（複合）災害への対応”の観点から、事業内容の中に、以下の文言の追記を提案する。 ・学校体育館等への空調設備の整備を推進します。	4	4	1	5	3	158	御指摘の「コロナ禍における大規模（複合）災害への対応」については、重要な視点であると考えており、「学校のリフレッシュ計画及び学校トイレの洋式化等の推進」（事業コード：04-1-5-03）に、学校体育館等への空調設備の整備も含め、感染症の拡大防止にも配慮した改修・建替を計画的に進めていくこととしております。 御提案につきましては、当該事業を推進する際の参考とさせていただきます。	素案のとおりといたします。
61	近所付き合いが希薄になっている昨今、心配なのは治安である。 今後とも防犯体制の強化をお願いする。	4	5	1	2	1	167	御指摘の防犯体制の強化の点は、重要な視点であると考えており、本計画においては「防犯対策の推進」（事業コード：05-1-2-01）として関連する事業を位置付けております。	素案のとおりといたします。
62	「犯罪被害者等支援の拡充」（事業コード：05-1-2-02）について、被害者の回復を図るために市民が含まれているが、被害を受けた人の中には他人への相談を憚る人もいると考える。プライバシーの面も考えて事業を進めなければならない。	4	5	1	2	2	167	本計画における「犯罪被害者等支援の拡充」（事業コード：05-1-2-02）の実施にあたっては、御指摘の「プライバシーへの配慮」の点に留意して進めてまいります。	素案のとおりといたします。
63	（特に強力推進していただきたい事項） 176ページ 06-1-1-04 高齢者暮らしサポート 見守り活動など地域の助け合い…見守るべき対象者を極力全て覆うために近隣の市民と高齢福祉課が連携する。	4	6	1	1	4	176	御指摘の点は、重要な視点であると考えており、本計画においては「地域の支え合いによる高齢者の生活支援」（事業コード：06-1-1-04）として関連する事業を位置付けております。 御指摘については、事業を推進する際の参考とさせていただきます。	素案のとおりといたします。
64	事業コード 06-1-1-04 事業名 地域の支え合いによる高齢者の生活支援 記載に賛同する。昨年来のコロナ禍により、民生委員や貴市職員が独居老人宅に訪問できない、面対できない等の課題が生じているものと推察する。	4	6	1	1	4	176	御指摘の点は、重要な視点であると考えており、本計画の「地域の支え合いによる高齢者の生活支援」（事業コード：06-1-1-04）の事業を推進する際の参考とさせていただきます。	素案のとおりといたします。
65	事業コード 06-1-1-05 事業名 認知症の人にやさしい地域づくりの推進 記載に賛同する。 認知症高齢者等にやさしい地域づくりにおいては、認知症に対する正しい知識と理解を持ち、地域で認知症の人やその家族に対して、できる範囲で手助けする「認知症サポーター」は、本施策において大変重要であると考えて。 「認知症サポーター」を養成するにあたっては、民間企業単位での講座開催も視野に入れた取組も有効ではないかと考える。本施策の推進にあたっては、各民間企業との連携・協働についてご検討いただきたい。	4	6	1	1	5	177	御指摘の認知症サポーターの養成にあたっての「民間企業との連携・協働」については、重要な視点であると考えており、本計画の「認知症の人にやさしい地域づくりの推進」（事業コード：06-1-1-05）に、考え方を含めております。 御指摘については、当該事業を推進する際の参考とさせていただきます。	素案のとおりといたします。
66	高次脳機能障害者支援事業の新規追加について、実施計画で位置付けられている「発達障害者への支援の充実」（事業コード：06-2-1-05）と同じように、新規事業として、高次脳機能障害者支援の充実を掲載してほしい。 発達障害者支援と同じように、高次脳機能障害者支援も長期に継続して実施することが重要な事業であるから、基本計画に取り上げられた高次脳機能障害について、実施計画上の実施計画事業として、「高次脳機能障害者支援の充実」を追加してほしい。	4	6	2	1	4 5	183 184	御指摘を踏まえて、素案を修正します。	P183 「障害者の相談支援体制の強化」（事業コード：06-2-1-04）の事業課に、障害者更生相談センターを追加し、事業内容に以下の記述を追加いたします。 ・高次脳機能障害に関する専門的相談や研修の実施等により、当事者や家族等への相談支援体制の充実を図ります。

意見 番号	意見（概要）	該当する頁等						意見に対する市の考え方	修正等の対応
		編	章	節	施策	事業 番号	頁		
67	まちづくり事業のバリアフリー化の促進について、高次脳機能障害当事者は、半側無視や半身麻痺などの身体障害を併発しているケースが少なくないので、実施計画素案186ページの事業「06-2-1-08 だれもが住みよい福祉のまちづくりの推進」の事業目的を「特に公共施設を計画する際は誰もが心豊かに暮らすことができる、当事者の声を生かしてソフト・ハードの両面のバリアフリー化を進めます。」とし、事業内容及び181ページの「06-2-1-08 だれもが住みよい福祉のまちづくりの推進」の事業概要は「・「心のバリアフリー」を啓発するための取組として、障害のある方や福祉関係団体等の協力を得て、市内の小中学校において福祉のまちづくりを地域ぐるみで学び合う「さいたま市福祉のまちづくりモデル地区推進事業」を実施し、新規の本市まちづくり事業ではユニバーサルデザインを検討して、所管課に意見することができるものとします。」としていただきたい。	4	6	2	1	8	181 186	御指摘の「まちづくり事業のバリアフリー化の促進」については、重要な視点であると考えており、「さいたま市だれもが住みよい福祉のまちづくり条例」に基づき、高齢者、障害者等を始め誰もが円滑に利用できるよう、民間施設、公共施設の別に関わらずバリアフリー化を進めております。 また、本市の福祉のまちづくりの推進として、同条例に基づき、整備基準を定めており、基準に適合するよう審査を行っております。 御意見については、これらの取組を展開する上での参考とさせていただきます。	素案のとおりといたします。
68	障がい政策課の事業内容の国庫補助事業は、障がい者差別を助長するもので、国の示す第6期福祉計画にも適応しているとは言えず適正な内容に修正すべき。 （理由）障がい政策課の事業は、働く場の確保に対して否定的な内容となっている。国庫補助事業に関して、国の制度として障がい者の自立・就労の為のステップを、就労A、就労B、生活介護と段階が設定されているにも関わらず、生活介護事業のみに限定することは、障がい者が段階を選択出来る環境整備を否定するもので、障がい者の自立への段階としての制度を歪め、自立を妨げるものである。 今日の新型コロナも同様である。民間企業との調節弁としての福祉法人による就労の場は、障がい者の勤労の権利を守るものだが、障がい政策課は福祉法人による就労の場の設置に対し拒否的で、障がい者の安定した段階ステップの就労の場を整備しないという政策は、障がい者に働くなどと言っている事と同じで差別的な政策と言える。	4	6	2	1	3	183	本市では、社会福祉施設等施設整備費国庫補助金を活用し、重度障害者を受入れる生活介護やグループホームの整備を優先して進めてまいりました。 今後も、御指摘の点を踏まえ、必要性・緊急性の高い障害福祉サービス事業所等やグループホームについて整備を進めてまいります。	素案のとおりといたします。
69	この計画では、「障害者を雇用する企業の開拓」と言いながら1年に1件、5年間で8件、一体何人の障がい者が雇用されるのか全く明示されていない。障がい者が勤労者として地域共生社会の一員として生活障がい者の段階的福祉施設から一般就労への移行等の推進を、具体的に企画提案すべきである。 また、就労施設の工賃増強のための施策を提示する義務があるが、何も提示されていない。	4	6	2	1	7	185	御指摘の点については、本計画では「障害者の就労機会の創出」（事業コード：06-2-1-07）に関連する事業を位置づけしており、「障害者を雇用する企業の開拓」につきましては「企業開拓により事業者が新規に障害雇用を始めた件数」、「障がい者が雇用される人数」につきましては「障害者総合支援センター登録者の就労増員数」の中でそれぞれカウントし、雇用と就労の双方に働きかけてまいります。 また、就労施設の工賃増強のための施策につきましては、調達件数を増やすことで、安定した業務量の確保につなげ、工賃の向上に資するよう努めてまいります。	素案のとおりといたします。
70	事業コード 06-2-1-08 事業名 だれもが住みよい福祉のまちづくりの推進 記載に賛同する。更にハード面のバリアフリー化に取り組むことも必要と考え、以下のとおり事業内容の追加、及び事業課に住宅政策課を追加される事を提案する。 ・暖かいリビングから寒い脱衣室、浴室、トイレへの移動など、急激な温度変化により血圧が大きく上昇することで、急性心筋梗塞や脳梗塞などを引き起こす要因と言われている「ヒートショック」を予防するため、断熱措置(室内温度のバリアフリー)を講じる住宅の普及を支援する。	4	6	2	1	8	186	御指摘の「断熱措置(室内温度のバリアフリー)」を講じる住宅の普及に関する取組については、今後の行政運営の参考とさせていただきます。	素案のとおりといたします。

意見 番号	意見（概要）	該当する頁等						意見に対する市の考え方	修正等の対応
		編	章	節	施策	事業 番号	頁		
71	感染症に対する脆弱性を克服するため、保健医療体制を強化すべきである。	4	6	3	1	1 2	193	御指摘の点は、重要な視点であると考えており、本計画においては「地域医療体制の充実」（事業コード：06-3-1-01）及び「感染症対策の充実」（事業コード：06-3-1-02）として関連する事業を位置付けております。御指摘については、当該事業を推進する際の参考とさせていただきます。	素案のとおりといたします。
72	「地域医療体制の充実」（事業コード：06-3-1-01）について、埼玉県は人口あたりの病床数が全国でもトップクラスに少なく、とりわけさいたま市は医師や看護師も不足している。 限りある資源を有効に活用する取組だけではなく、積極的に病院を新設、誘致をするなど資源を増やしていく取り組みが必要ではないか。 病院同士の連携を高めつつ、医療体制そのものが潤沢に市民に行き渡るようになるような仕組みを作してほしい。	4	6	3	1	1	193	御指摘の点は、重要な視点であると考えており、本計画が掲げる「地域医療体制の充実」（事業コード：06-3-1-01）に考え方を含めております。個別具体的な取組への御指摘については、今後の事業実施の中で生かせるよう努めてまいります。	素案のとおりといたします。
73	感染症対策を完全に。 交通網の発達で、ウイルスも短時間で世界に拡散するので、現在のコロナ対策だけではなく、スペイン風邪を念頭に置いた対策を準備してほしい。 ウイルス対応病院の増設 今のようにPCR検査で陽性になっても入る病院がないでは話にならない。	4	6	3	1	1 2	193	御指摘の「スペイン風邪を念頭に置いた対策」につきましては、本計画においては「感染症対策の充実」（事業コード：06-3-1-02）に、コロナウイルス感染症をはじめとする新興・再興感染症への対応を位置付けております。また、「ウイルス対応病院の増設」に関する御指摘につきましては、本計画に掲げる「地域医療体制の充実」（事業コード：06-3-1-01）の実施にあたり、限りある医療資源を有効に活用できるよう、市民が適切な医療を受けられる環境の整備を進めてまいりたいと考えております。	素案のとおりといたします。
74	病院や養護施設の感染対策として、指先で血中酸素濃度を毎朝測って、チェック、患者と接する時は必ずエアラインマスクを付けるべき。 ロカ式マスクでは顔とマスクの隙間からウイルスが侵入して感染する。塗装工事に使われているエアラインマスクはきれいな空気をホースで送り顔のマスクから出す。マスクの中は常にプラス圧になるのでウイルスが入ることはありえない。9万円ほどで簡単に買える。	4	6	3	1	1	193	御指摘の「病院や養護施設の感染対策」は、重要な視点であると考えており、本計画に掲げる、「感染症対策の充実」（事業コード：06-3-1-02）に考え方を含めております。個別具体的な取組への御指摘については、今後の事業実施の中で生かせるよう努めてまいります。	素案のとおりといたします。
75	「保育需要の受け皿及び保育人材の確保」（事業コード：07-1-2-01）について、待機児童数の令和元年実績が市全体で387人というは実態と合っていない。利用申請したが入所出来なかった児童の全数を表に出してほしい。	4	7	1	2	1	201	御指摘の「保育所等利用待機児童数」につきましては、国の定義に基づいて算定をしております。また、保育施設の新規利用申込をされた方のうち、利用できなかった方の人数につきましては、「利用保留児童数」として、待機児童数の発表と併せて毎年度公表しております。	素案のとおりといたします。
76	「保育需要の受け皿及び保育人材の確保」（事業コード：07-1-2-01）保育ステーションは良い取組なので推進してほしい。	4	7	1	2	1	201	御意見を参考に、計画を進めてまいります。	素案のとおりといたします。
77	「保育需要の受け皿及び保育人材の確保」（事業コード：07-1-2-01）について 送迎保育ステーションについて、調査・検討した結果がどのようなものだったかを示してほしい。 また、送迎保育ステーションを利用する児童の保護者は、児童が通う園の保育教諭等と毎日直接顔を合わせるとは限らないといった点はどうか解決されるのか、市民への情報提供が十分であったかを検証し、総合振興計画の期間途中であっても計画の見直しが必要な場合には柔軟に対応すべきであり、計画の修正・見直しがあり得ることを明記すべきである。	4	7	1	2	1	201	御指摘の「送迎保育ステーションの整備」については、保育所等利用待機児童数の状況や認可保育所・幼稚園等の状況、他市における実施事例などを踏まえながら、本市における効果的な実施手法を検討してまいりました。また、「保育教諭等と毎日顔を合わせるとは限らない」という点については、児童の保護者が、通園先の幼稚園を訪問するなど、保育教諭等と情報共有を行う機会を設けるよう促していきたいと考えております。計画の修正・見直しについては、本計画の第2編「進行管理」の考え方に基づき、必要に応じて改定・見直しを図ってまいります。	素案のとおりといたします。

意見 番号	意見（概要）	該当する頁等						意見に対する市の考え方	修正等の対応
		編	章	節	施策	事業 番号	頁		
78	「質の高い幼児教育・保育の推進」（事業コード：07-1-2-02）について 質の高い保育の実現に当たっては、私立幼稚園や保育所等で保育業務に従事する職員だけでなく、経営者層に対する研修も実施してほしい。 公立・私立を問わず、さいたま市の保育施設に通う子どもたちが等しく、安心安全を基本とした質の高い保育を受けられるよう、経営者層から保育現場で従事する職員までが同じ理解のもとで保育が行われるようにすべきであり、経営者層への研修についても実施することとし、その旨を計画に明記すべきである。	4	7	1	2	2	202	御指摘の点は、重要な視点であると考えており、管理職も含めた保育に関する研修についての目標指標を設定しております。 これまでも、管理職を対象とした研修を実施してまいりましたが、対象者を限定した研修等が多岐にわたっていることから、具体的な明記を行っておりません。 御意見については、当該事業を推進する際の参考とさせていただきます。	素案のとおりといたします。
79	放課後児童クラブは小学校内に整備した方が、子供達が校庭を利用できることから好ましい。 余裕教室のない小学校は、現在校庭に整備されているプレハブの育成室や老朽化した育成室を建て替える等して、増加している放課後児童クラブの入室希望児童の受け皿を確保するとよい。公設民営でもよい。 晴れた日は校庭を使用でき、悪天候の日に体育館が使用できることは、子供たちが体力の向上と密にならないゆとりある育成が受けられる。学校内は防災の面からも安全である。	4	7	1	2	3	203	御指摘の「放課後児童クラブのニーズに応じた受け皿の確保」については、重要な視点であると考えており、本計画の「放課後児童クラブの拡充」（事業コード：07-1-2-03）を位置付けております。 個別具体的な取組に関する御意見については、当該事業を推進する際の参考とさせていただきます。	素案のとおりといたします。
80	さいたま市の放課後児童クラブでは、指導員の募集内容から、有資格者と無資格者において行われているようだが、育成支援の質の向上を目指すなら、現在有資格者でない指導員については、令和4年度末までをめぐりに全員研修を受ける等して、放課後児童支援員の資格を取得することとし、平成5年度以降は保育士・教員・放課後児童支援員の有資格者による放課後児童クラブでの児童の育成を行うこととしていただきたい。 支援員が責任と誇りを持って子供達を指導できることは、支援員にとっても子供たちにとっても大切であり、それが、07-1-2-03に記載されている放課後児童支援員の処遇改善の基本的な要件でもあると考える。	4	7	1	2	4	203	御指摘の「放課後児童クラブにおける育成支援の向上」については、重要な視点であると考えており、本計画の「放課後児童クラブにおける育成支援の質の向上」（事業コード：07-1-2-04）を位置付けております。 個別具体的な取組に関する御意見については、当該事業を推進する際の参考とさせていただきます。	素案のとおりといたします。
81	「児童虐待対策の充実」（事業コード：07-1-3-02）については重要な取組だが、目標指標がフォーラムのアンケートと乳児期の訪問率の現状維持のみなのは不足している。	4	7	1	3	2	207	近年の多様化・複雑化する児童虐待問題に対応するためには、庁内の関係機関において多角的かつ総合的な支援を実施するとともに、学校や保育園・幼稚園、民生委員児童委員など、あらゆる関係機関と連携を図り、支援が必要な子どもやその家庭の実情を把握し、事態が深刻化する前に支援を実施することが重要であると認識しております。これらの関係機関との連携を確保するためには、関係機関の理解と協力が不可欠であることから、虐待防止フォーラム参加者が参考となった割合を目標値として設定しております。 より多くの関係機関に参加していただき、児童虐待に関する正しい知識を身に着けていただくことで、関係機関の共通認識を醸成し、児童虐待の発生予防から早期発見・早期対応を強化してまいります。	素案のとおりといたします。
82	未来に向けた盆栽文化の継承・発展（事業コード：08-1-1-02）について、盆栽村の聖地化が文化の発展およびさいたま市のブランド化向上に寄与すると思うので、地域全体を魅力的な文化発信地とするため、地域の開発計画と合致させるため、事業課に都市計画課、みどり推進課、都市公園課を追加してください。 聖地として魅力を高めるため、景観保全、緑創出などのまちづくりを含めた総合的な取組をお願いしたい。 また、盆栽村は大半が風致地区に指定されており自然的景観を維持する地域であることから、目標指標に緑化面積など景観維持に関する目標値を設定してほしい。	4	8 9	1 2	1 1	2 2 4	213 245 247	御指摘の「地域全体を魅力的な文化発信地とする」ことは重要な視点であると考えており、「未来に向けた盆栽文化の継承・発展」（事業コード：08-1-1-02）においても、それを念頭に取組を推進してまいります。 事業課につきましては、事業内容や予算等を総合的に判断して取組の推進に責任を担う課を掲載しておりますが、それ以外の関係課とも適宜連携し事業を推進しております。 緑化面積など景観維持に関する目標値の設定につきましては、「身近な公園の整備推進」（事業コード：09-2-1-04）や「街なかにおける緑の創出」（事業コード：09-2-1-02）などで御指摘の趣旨に即した指標を設定しております。	素案のとおりといたします。

意見 番号	意見（概要）	該当する頁等						意見に対する市の考え方	修正等の対応
		編	章	節	施策	事業 番号	頁		
83	(特に強力推進していただきたい事項) 214ページ 08-1-1-03 国際芸術祭の開催 芸術の薫る街の魅力度は高い。多様性のある多くの方が集まってくる。	4	8	1	1	3	214	御指摘の点は重要な視点であると考えており、本計画においても関連する事業として「市民参加型の特色のある国際芸術祭の開催」（事業コード：08-1-1-03）を位置付けております。 御指摘については、当該事業を推進する際の参考とさせていただきます。	素案のとおりといたします。
84	市民による文化芸術活動の支援の充実(事業コード：08-1-2-01)について、県では、演奏会開催の要望がある老人ホームや障害者施設等に対して、ボランティアコンサートに登録した演奏団体との取次を行ない、双方の承諾が取れば施設において演奏会を開催する「アーティストボランティアコンサート」を行っている。 県の財源の持出しはなく、一般の演奏会には出向けない方々に芸術活動に触れてもらえ、演奏団体も演奏する機会が増すwinwinな事業なので、市でも実施してほしい。	4	8	1	1 2	4 1	214 217	御指摘の「老人ホームや障害者施設など一般の演奏会には出向けない方々にも芸術活動に触れてもらう」という点は、大変重要な視点だと考えており、これまでも様々な分野で活躍するアーティスト等を高齢福祉施設や障害福祉施設等に派遣し、市民の皆様にも文化芸術に触れていただく機会の創出に取り組んでまいりました。また、本計画においても「文化芸術を活用したアウトリーチ事業の推進」（事業コード：08-1-1-04）として位置付けており、今後も事業を継続してまいります。 さらに、本市の外郭団体である（公財）さいたま市文化振興事業団において、文化芸術や生涯学習活動に携わる人材を「SaCLa（サクラ）アーツ」に登録し、これら登録した団体（個人）と、アーティストや講師を探したい市民等との橋渡しを行っております。その他の御意見については、当該事業を推進する際の参考とさせていただきます。	素案のとおりといたします。
85	(特に強力推進していただきたい事項) 222、221ページ08-1-3 02、01 市史編纂、文化資源保存 郷土歴史の継承は次世代の繁栄に繋がる。	4	8	1	3	1 2	221 222	御指摘の「郷土歴史の継承」については、重要な視点であると考えており、本計画の「次世代に向けた歴史文化資源の保存・継承・活用」（事業コード：08-1-3-01）、「新たな視点で市史編さん」（事業コード：08-1-3-02）を位置付けております。 御指摘については、これらの事業を推進する際の参考とさせていただきます。	素案のとおりといたします。
86	(特に強力推進していただきたい事項) 227ページ 09-1-1-01 大宮駅機能高度化 大宮駅は素晴らしい所に立地している。駅及びその周辺自体に、行きやすい、行きたいという魅力があれば、より吸引力が強まる。	4	9	1	1	1	227	御指摘の点について、大宮駅及びその周辺の魅力向上は重要であると考えており、本計画の「大宮駅グランドセントラルステーション化構想の実現」（事業コード：09-1-1-01）に考え方を含めております。 御指摘については、今後の行政運営に生かせるよう努めてまいります。	素案のとおりといたします。
87	「大宮駅グランドセントラルステーション化構想の推進」（事業コード：09-1-1-01）について、認可を得るのに5年もかけていたらいつまでも完成しない。	4	9	1	1	1	227	東口駅前広場の事業認可を取得するために必要となる都市計画手続きや認可図書作成のための調査・設計、関係権利者・事業者との合意形成等に必要な期間を見込み、スケジュールを整理しております。今後も早期の完成に向けて事業に取り組んでまいります。	素案のとおりといたします。
88	商業のまち大宮と文教都市浦和では持っている、目指すべきまちのすがたが異なる。 既に開発が進んでいる商業のまち、大宮の手法を浦和に適用されたくない。 K P I も各地域の個性によって異なるはず。評価者も各地域の住民であるべき。 ＜該当箇所＞ 戦術5 ヒト・モノ・情報を呼び込み、東日本の未来を創る対流拠点都市の創造 ・市街地開発事業の推進（都心） 第9章 都市インフラ 事業09-1-1-02市街地開発事業の推進（都心）	4	9	1	1	2	228	総合振興計画基本計画では、大宮駅周辺地区においては、東日本の対流拠点として“ヒト・モノ・情報が集まり、新たな価値を生み出す都心地区”の形成、浦和駅周辺地区においては、「県都」「文教都市」といったイメージを生かした“洗練された伝統と感性豊かな文化が息づく、風格で魅了する都心地区”の形成を目指す方向性と掲げております。 当事業は本市の都心における広域的な都市活動や市民生活の拠点の整備を目的としており、事業進捗等を統一的な指標として定めておりますが、御指摘の個性に応じたK P I の設定及び住民による評価については、今後、住民と連携・協働したまちづくりを推進する際の参考とさせていただきます。	素案のとおりといたします。

意見 番号	意見（概要）	該当する頁等						意見に対する市の考え方	修正等の対応
		編	章	節	施策	事業 番号	頁		
89	これから開発する浦和駅のほか、南浦和駅、東浦和駅について、30年後、また防災の観点から低層化を目指すべき。 駅に着いた時、遠くまで見渡せてホッとする眺望を。この考え方は、他にも当てはまる。各地域に分けて、まちのすがたの展望を。 例えば 09-1-1-03 市街地開発事業の推進（副都心） 戦略1 戦術5 09-2-2-06 市街地開発事業の推進（市施行土地区画整理事業） 事業課：市街地整備課 日進・指扇周辺まちづくり事務所 東浦和まちづくり事務所 与野まちづくり事務所	4	9	1 2	1 2	3 6	229 255	本市では、駅周辺における良好な住環境や都市景観の形成を目指し、市街地開発事業や道路事業等による都市基盤の整備を進めているところです。 今後とも、各駅周辺の地域の特性を生かした、災害に強く、安全で良好なまちづくりに努めてまいります。	素案のとおりといたします。
90	「地下鉄7号線の延伸」（事業コード：09-1-3-04）について、地下鉄7号線の延伸よりも川越線の複線化が先である。	4	9	1	3	4	241	川越線の複線化については、鉄道事業者が管轄する事業であり、事業者からは「今あるまちづくりの計画を勘案しても複線化が必要な状況ではない」との見解が示されています。そのため、本計画には位置付けておりませんが、将来の複線化に向け、事業者に対する要望は継続して行っていきたいと考えております。 また、地下鉄7号線の延伸については、本市の副都心である浦和美園地区と岩槻駅周辺地区を結ぶことで、広域的交流を支えるネットワークを充実させ、多くの人が集まる交流拠点都市の実現に寄与する重要な事業であることから、本計画に位置付けております。	素案のとおりといたします。
91	計画道路について、桜区の計画道路は桜並木にしてください。 さくら草と桜の桜区へ。	4	9	1	3	6	242	本計画では「幹線道路整備の推進」（事業コード：09-1-3-06）として、道路整備に関連する事業を位置付けております。 御意見については、これらの事業を推進する際の参考とさせていただきます。	素案のとおりといたします。
92	県道2号線を拡幅してもまた第二産業道路と立体交差するにしても、現在の県道2号線のバス停大和田の西30m～50mにある「手押し信号付き交差点」は存続させてもらいたい。 県道2号線の車両通行を優先するあまり、近くの住民に不利益を忍受させてしまうことなきよう配慮いただき、行政各担当間で検討いただきたい。	4	9	1	3	6	242	本計画では「幹線道路整備の推進」（事業コード：09-1-3-06）の中で、県道2号線の拡幅化も含めた多車線道路の整備を位置付けております。 個別具体的な取組への御指摘については、今後の行政運営に生かせるよう努めてまいります。	素案のとおりといたします。
93	基本的な道路の整備をお願いしたい。パリの改築をしたナポレオン3世のようには言わないが、道路の幅を広くすると、駅周辺のミニ開発やマンション乱立によって、狭い道路に多くの車が入り込むようになっている現状を改善してほしい。危ない！	4	9	1 2	3 3	6 9	242 266	本市では、都市計画道路を始めとする幹線道路の整備が遅れていることから、「幹線道路整備の推進」（事業コード：09-1-3-06）の中で、早期に整備効果が期待される路線を選定し、計画的な道路整備に取り組んでまいります。 また、本計画に掲げる「道路の安全性の向上」（事業コード：09-2-3-09）の中で、ゾーン30など生活道路の安全対策や良好な道路環境の維持に努めてまいります。 御指摘については、これらの事業を推進する際の参考とさせていただきます。	素案のとおりといたします。
94	（特に強力推進していただきたい事項） 245ページ 09-2-1-01 都市景観 賑わいの中心にあり、ウインドウショッピングができる基幹歩道を守っていく。このような歩道沿いのマンションは排除する。	4	9	2	1	1	245	本市では、個性豊かで魅力ある良好な都市景観を形成するために景観計画を策定し、大規模な建築物の建築等を行う場合には、景観法に基づく届出により景観誘導を行っています。 今後も、景観誘導により建築物等が周辺の都市景観と調和が図られるよう努めてまいります。	素案のとおりといたします。
95	「個性豊かで魅力ある良好な都市景観形成の推進」（事業コード：09-2-1-01）について、景観形成に向けた地域ルール作成支援の最終目標を1地区から2地区に変更すべき。 大切な事業なので、さいたま市全域に広げるための取組が必要とあえる。	4	9	2	1	1	245	個性豊かで魅力ある良好な都市景観の形成を進めていく上で、景観形成に向けたルールづくりは必要と考えております。地域のルールは、景観への意識や景観を守り、それを継続していくための仕組みづくりであると考えており、そのためには地域住民の皆様の御理解・御協力が不可欠であることから、意識醸成、意識調査などの段階を経て、進めてまいりたいと考えております。	素案のとおりといたします。

意見 番号	意見（概要）	該当する頁等						意見に対する市の考え方	修正等の対応
		編	章	節	施策	事業 番号	頁		
96	大規模公園の整備について、秋ヶ瀬公園も追加していただきたい。特に真夏は暑いが水辺がないため利用しづらい。じゃぶじゃぶ池や人工の川を新設してほしい。	4	9	2	1	3	246	御指摘の秋ヶ瀬公園については、県営公園であるため、本計画の「大規模公園の整備推進」（事業コード：09-2-1-03）に追加することはできませんが、御意見として埼玉県に伝えさせていただきます。	素案のとおりといたします。
97	西区には公共のドッグランがなく、調べると見沼区（車で30分）のドッグランが最寄りであり、ほかでは戸田市（車で30分）になるなど、不便なので、西大宮駅前の開発予定の3つの公園のいずれかに作ってほしい。 本当は西区に大きなドッグランが欲しいところだが、既存施設内ではいろいろと面倒かと思う。開発予定の公園だとわだかまりも少なそうで、特色にもなる。	4	9	2	1	4	247	御指摘のドッグランの整備については、公園内に設置する際の基本的な方針として、他の公園施設と分離し、ドッグランを設置できるスペースと駐車場が確保できること、近隣住民や他の公園利用者の理解が得られることのほか、地域または利用者により構成された運営団体の協力が得られることとしております。 また、面積要件としては、少なくとも小型犬と大型犬を分離するなど相当の面積を要するため、西大宮駅周辺の公園予定地へのドッグラン設置は現在のところ予定しておりませんが、今後、西区を含め市内での設置可能な場所を模索してまいります。	素案のとおりといたします。
98	仮称野原（のっぽら）公園を作り幼児小学生中学生老人の憩いの場を作って欲しい。【場所】桜区（西堀）大宮バイパスを西に向かって渡り桜区役所からゴミ焼却場までの野原。【理由】南区、桜区は交通の便がよく商店も充実して生活しやすい。人口は年々増しており、屋敷森や田や畑が宅地に整備され、新築の家屋が次々売りに出されている現在、今年には数百人の人口が増加されると思う。保育園、学校、病院等、対応できるのかどうか考えさせられるが、ゆとりある地域にする為、自然環境にふれた場、安心できる場所が必要。コロナ禍の実情から、人口密度等の関係で感染拡大していると考え。幼児から老人まで健康な体を保つには野原を走る、歩く、新鮮な空気を吸うことが根本的に必要ではないか。親子で楽しむ憩いの場、子供用アスレチックやローラースケート、スケートボード、広い空を見る、夜の星の観察、アートの作成など、文化面の基礎が培われるなど。市民の夢が叶えられると、未来が開けるように思う。自然を破壊するのではなく、育てて欲しい。	4	9	2	1	4	247	御指摘の点について、本市では、歩いて行ける範囲に子どもからお年寄りまで誰もが安心して利用できる身近な公園を、公園が不足している市街化区域を優先して整備を進めているところです。 御意見の場所については、市街化調整区域の地区であること、また、隣接する境内には県営の秋ヶ瀬公園が整備されていることから、公園整備を行うことは難しいと考えております。 なお、御意見の場所の一部は秋ヶ瀬公園の拡張用地となっていることから、御意見として埼玉県に伝えさせていただきます。	素案のとおりといたします。
99	最近、公園から遊具が撤収されている。危険で撤収は理解できるが、より楽しく安全な公園を実現してほしい。 子どもたちから遊具を取り上げたままではコミュニケーションに欠けている。	4	9	2	1	4	247	御意見のとおり、公園の遊具は子供の発育や発達に大きく影響すると考えております。御指摘の遊具の一部を使用中止していることについては、平成31年4月1日付けで、国土交通省から「都市公園における安全確保について」の通知により使用不可と判定された遊具（776基）について、速やかに使用中止の措置を講じました。令和2年12月31日時点で、776基の遊具のうち611基については、応急修繕等が終了し、使用を再開しております。残りの遊具についても、速やかな修繕又は撤去の完了を目指しており、その後の遊具再設置を順次進めております。 なお、使用中止していた遊具の対応状況については、以下のさいたま市ホームページに掲載しております。 1 都市公園内における遊具の一部の使用中止について https://www.city.saitama.jp/004/006/008/p065612.html 2 使用中止としている公園の遊具の対応状況について https://www.city.saitama.jp/004/006/008/p077702.html	素案のとおりといたします。
100	「参加と協働によるまちづくりの推進」（事業コード：09-2-2-04）について、まちづくり総務課が助言・支援したことにより、何らかの成果が得られていることが望ましい。 まちづくり総務課の助言による成功事例および内容の公開について、目標指標を設定してほしい。	4	9	2	2	4	253	市の助言・支援により、団体等において活動の成果が得られることが望ましいと考えておりますが、成果や成功の判断が難しいものもあるため、目標指標として設定することは適さないと考えております。	素案のとおりといたします。

意見 番号	意見（概要）	該当する頁等						意見に対する市の考え方	修正等の対応
		編	章	節	施策	事業 番号	頁		
101	09-2-2-06 市街地開発事業の推進（市施行土地区画整理事業） 指扇地区：事業進捗率 素案であり、詳細が書かれていないので、概ね案のとおりでよい。 良い機会なので、要望を述べると、西大宮駅周辺に交番を誘致してほしい。駅周辺の人口が増えているが、最寄りの交番が遠いので、安全面も考え交番があってもよいと考える。	4	9	2	2	6	255	西大宮駅南側では、西区における新たな地域拠点の形成に向け、災害に強い安全で快適なまちづくりを行うため、平成17年度から土地区画整理事業を施行しているところです。 御指摘の「交番の設置」については、埼玉県警が所管となっておりますが、引き続き関係者と連携しながら、安心・安全なまちづくりを進めてまいります。	素案のとおりといたします。
102	七里駅北側の区画整理事業で計画されている雑木林の伐採撤去、駅北側の七里のシンボルとして市民に愛されてきた貴重な株立ちの桜の撤去は、計画にある「豊かな自然環境を守り育て、それらを重要な資産として活用し水と緑に囲まれた潤いのある都市計画を実現します」という目標に真っ向から逆行する。 区画整理の当事者の方々が、自分たちの利益を追求するのは理解できるが、市はもっと長い未来を見据えた広い視野で当事者の方々に理解してもらえるよう説得すべき。	4	9	2	2	7	256	本市では、市街地における都市基盤の整備等を図るとともに、河川や緑地等の自然環境の保全・活用に取り組むことで、市街地と自然環境がバランスよく配置された都市構造を目指しております。 御指摘の点について、平成14年から施行中の七里駅北側特定土地区画整理事業では、幹線道路や駅前広場の整備により、周辺地域の拠点形成を目指したまちづくりを進めておりますが、御意見につきましては、土地区画整理事業の施行者である組合にお伝えいたします。	素案のとおりといたします。
103	高齢化社会の到来に当たり、モビリティの確保は益々重要になる。公共交通機関のきめ細かなサービス拡充を望む。	4	9	2	3	1 2	262	御指摘の点について、交通空白地区や交通不便地区等の解消に向け、市民、交通事業者と協働して各種取組を推進するため、本計画においては「効率的で持続可能な公共交通ネットワークの実現」（事業コード：09-2-3-01）及び「身近な公共交通の充実」（事業コード：09-2-3-02）として関連する事業を位置付けております。 御指摘については、これらの事業を推進する際の参考とさせていただきます。	素案のとおりといたします。
104	「都市計画道路の見直し」（事業コード：09-2-3-04）について、人口減少と高齢化の下で、都市中心部への人口の再集中も想定される状況なので、計画策定から多大の年月を経ている都市計画道路については、期限を区切って廃止・縮小等の抜本的な見直しを早急に行うべき。 その際、住宅地への新しい都市計画道路の施工は、地域コミュニティの維持・活性化の観点から阻害要因になる可能性があるという点や計画から実施までのタイムラグがあまりに長期に及ぶ場合は、それにともなう土地利用の制約という私権の制限も極めて長期に及ぶことになる（これは、本来例外的な場合に条件付きでなされる、私権制限としては、受忍限度を超える恐れがある）ことも考慮されたい。	4	9	2	3	4	263	御指摘の「都市計画道路の見直し」については、人口減少、高齢化社会等の社会情勢の変化に対応し、低炭素型のコンパクトなまちづくりを実現する効率的な道路ネットワークを構築するため、平成24年10月に「さいたま市道路網計画」を策定しております。 道路網計画の実現に向けて、未整備の都市計画道路については、都市計画道路の必要性や事業化の目途に合わせて時間管理できるよう、事業中路線や存続候補路線、廃止候補路線など類型化し、都市計画道路の見直しを行っております。 今後についても、社会情勢の変化等に柔軟に対応できるように定期的に道路網計画の見直しを行い、都市計画道路の見直しを進めてまいります。また、見直しの対象になった道路については、関係者へ十分説明を行いながら合意形成を図ってまいります。 御指摘については、これらの事業を推進する際の参考とさせていただきます。	素案のとおりといたします。
105	該当箇所 277ページ 事業コード 10-1-1-03 事業名 既存建築物の耐震化促進 「旧耐震基準の建築物で、耐震性に不安のある建築物の耐震化を促進するため、耐震診断・・・」と記載されているが、耐震診断の結果、耐震性が不足していると評価された建築物に対して耐震化に要する費用を助成するのであって、耐震性に不安のあるものを耐震化するわけではない。誤解を与える内容なので、修正が必要である。	4	10	1	1	3	277	耐震診断が未実施で耐震性が不明なものも含め、「耐震性に不安のある」としております。 その上で、耐震化に関する普及啓発や耐震診断や耐震改修などへの助成を行うものです。 いただきました御意見については、今後の耐震化施策の参考とさせていただきます。	素案のとおりといたします。
106	該当箇所 277ページ 事業コード 10-1-1-03 事業名 既存建築物の耐震化促進 事業内容の1点目で「旧耐震基準(建築基準法)で昭和56年5月までに建築された既存建築物の…」と記載されているが、助成金の交付対象は「さいたま市既存建築物耐震補強等助成事業要綱」により「昭和56年5月31日以前に工事に着手し、建築されたもの」と規定されている。記載内容に誤りがあるので修正が必要である。	4	10	1	1	3	277	表記については、御指摘の内容をなるべく端的に分かりやすい表現としたところですが、御指摘の趣旨を踏まえて、素案を修正いたします。	P277 記載内容を以下のとおり修正いたします。 ・旧耐震基準（建築基準法）で建築された既存建築物の耐震診断、補強設計、補強工事又は建替え工事を実施する建築物の所有者等に対する助成金の交付を行います。

意見 番号	意見（概要）	該当する頁等						意見に対する市の考え方	修正等の対応
		編	章	節	施策	事業 番号	頁		
107	該当箇所 277ページ 事業コード 10-1-1-03 事業名 既存建築物の耐震化促進 目標指標について 事業内容の3点目で、「建築物の診断等の実施が進む一方で耐震化の意向のある対象者は年々減少している…」と記載されている。耐震化が進んでいないのであれば耐震診断の棟数でなく、耐震補強工事や建替えなど「耐震化の棟数」が目標指標になるのではないかな。	4	10	1	1	3	277	耐震化の棟数を目標指標にするべきではないかという御指摘については、まずは耐震化の入口である耐震診断により、御自宅の耐震性能を認識していただくことが、その後の耐震改修、建替えにつながる重要な取組であると考えていることから、耐震診断の棟数を目標指標としております。	素案のとおりといたします。
108	該当箇所 277ページ 事業コード 10-1-1-03 事業名 既存建築物の耐震化促進 目標指標について パブリックコメントで同時公開されている「さいたま市建築物耐震改修促進計画(素案)」では、令和7年度までの住宅の耐震化率が95%にすることを目標として掲げており、目標達成には耐震診断で耐震性が不足と評価されたもののうち、施策により2,400戸の耐震化が必要とされている。目標指標は促進計画に合わせ「戸数」にするか、形態が異なる戸建て住宅と共同住宅に分けた目標指標にすべきではないか。	4	10	1	1	3	277	目標指標を「さいたま市建築物耐震改修促進計画(素案)」に合わせるべきではないかという御指摘につきましては、同計画に掲げる耐震化率の目標の達成に必要な住宅戸数2,400戸（戸建て住宅及び共同住宅）を、実務上棟単位で行われる耐震診断の実施棟数に置き換えた数値を目標指標としているものであり、「さいたま市建築物耐震改修促進計画(素案)」との整合は図られていると考えております。	素案のとおりといたします。
109	該当箇所 277ページ 事業コード 10-1-1-03 事業名 既存建築物の耐震化促進 目標指標について 普及啓発を強化するというのであれば、所有者等への働きかけの内容や件数など、行政の取組を目標指標としてもよいのではないかな。 緊急輸送道路沿道の耐震化は行政にとって重要な施策の一つなので目標指標としてもよいのではないかな。	4	10	1	1	3	277	所有者等への働きかけの内容や件数を目標指標にするべきではないかという御指摘につきましては、所有者への働きかけの成果として、より多くの所有者に耐震診断を受けていただくことが重要であると考えていることから、「耐震診断の棟数（住宅）」を目標指標としております。 また、緊急輸送道路沿道の耐震化を目標指標としてもよいのではないかという御指摘につきましては、重要な視点であると考えており、現在、耐震診断の義務化などの手法を検討している段階であることから、今後その検討結果に応じ、柔軟に対応してまいりたいと考えております。	素案のとおりといたします。
110	既存建築物の耐震化促進（事業コード：10-1-1-03）について、目標指標では「住宅の建て方」に触れず、指標を「棟数」に置いているため、評価に際しては、戸建て住宅の耐震診断を年間300棟（＝300戸）実施すれば100％で「目標達成」となるが、1棟当たり50戸規模の共同住宅を年間12棟（＝600戸）実施しても達成度は4％（12棟／300棟）で、戸建て住宅よりはるかに多い戸数の耐震診断を実施したにもかかわらず、目標指標を大きく下回ることから「目標未達成」となり、矛盾した評価になってしまう。 住宅の耐震化に於いては、さいたま市建築物耐震改修促進計画（素案）のとおり「戸数」で捉えるのが基本であり、形態や規模の異なる様々な住宅を「棟数」という指標でひとくくりするには無理があるので修正が必要である。	4	10	1	1	3	277	御指摘の目標指標の目標値につきましては、過去10年間の実績に基づき、1棟あたりの平均戸数を想定して毎年度の目標棟数に含めており、評価上矛盾は生じないものと認識しております。	素案のとおりといたします。
111	既存建築物の耐震化促進（事業コード：10-1-1-03）について、平成28年度から令和元年度までの行政報告書及びさいたま市建築物耐震改修促進計画（素案）の「耐震診断実施件数」と「耐震化された件数」との関係を見ると、戸建て住宅については、1,967棟（＝戸）の耐震診断に対し、耐震化（補強・建替工事）されたのは598棟（＝戸）であり、共同住宅では、58棟（約1,700戸）の耐震診断の実施に対し、9棟（約100戸）の耐震化である。 目標指標を超える2,025棟（1,967棟＋58棟）の耐震診断を行っても耐震化に至った戸数は約700戸（598戸＋約100戸）に留まっており、さいたま市建築物耐震改修促進計画（素案）で目標とする「施策による耐震化2,400戸」の30％にも満たない。 さいたま市建築物耐震改修促進計画（素案）の目標と、その上位計画である実施計画の目標指標とが噛み合っていないので、整合するよう見直しが必要である。	4	10	1	1	3	277	目標指標が「さいたま市建築物耐震改修促進計画（素案）」の目標と噛み合っていないとの御指摘につきましては、耐震化の第一歩となる耐震診断を行うことが耐震化率向上に最も効果的な取組である考えのもと、同計画に掲げる耐震化率の目標の達成に必要な住宅戸数2,400戸（戸建て住宅及び共同住宅）を棟数に置き換えた数値を目標指標として設定しているものであり、両計画の整合は図られているものと考えております。	素案のとおりといたします。

意見 番号	意見（概要）	該当する頁等						意見に対する市の考え方	修正等の対応
		編	章	節	施策	事業 番号	頁		
112	既存建築物の耐震化促進（事業コード：10-1-1-03）について、住宅の耐震化率が伸びないのは、旧耐震基準で建築された戸建て住宅のうち、木造住宅の耐震化が進んでいないことが大きな要因となっているが、旧耐震基準で建築された木造建築物は既に築後40年以上経過したものが大半を占めており、今後、耐用年数やライフスタイルに応じた建替え、除却といった自然更新による耐震化が加速されていく。 このような状況において、「総合振興計画」における「地震災害に強いまちづくりの推進」に向けた5年間の実施計画として、住宅の耐震化、それも「住宅の耐震診断の棟数」を目標指標として掲げることが相応しいのか疑問に感じる。 さいたま市建築物耐震改修促進計画（素案）では、住宅の他にも多数の者が利用する建築物や緊急輸送道路閉塞建築物の耐震化など、より大きな視点で地震災害に強いまちづくりに寄与する施策及び目標が掲げられている。 総合振興計画に相応しい目標指標を設定すべきと考える。	4	10	1	1	3	277	「既存建築物の耐震化促進」（事業コード：10-1-1-03）の目標指標につきましては、市民生活の土台である住宅の耐震化促進が最も重要な取組であると考えており、その目安となる「耐震診断の棟数（住宅）」を目標指標として設定しております。 住宅のほか、多数の者が利用する建築物や緊急輸送道路閉塞建築物の耐震化に関連した目標指標を設定すべきではないかという御指摘につきましては、重要な視点であると考えており、このうち法令等による耐震診断の義務化がされていない緊急輸送道路閉塞建築物について、義務化などの手法を検討している段階であることから、今後その検討結果に応じ、柔軟に対応してまいりたいと考えております。	素案のとおりといたします。
113	私の居住地域は毎年道路が冠水し、台風レベルの豪雨でなくても、少々強い雨程度で冠水が発生する。大規模冠水、浸水が生じた場合には自治体の負荷が大きくなり、通常業務が圧迫されるので、喫緊の課題である。しかし、計画事業に具体的な記載がないため表面的な形骸化した計画になっている。実際に毎年の水害が生じているので実態に即した具体化をお願いします。 事業コード：10-1-1-04 事業名：治水対策施設の整備推進 事業コード：10-1-1-05 事業名：河川管理施設等の計画的な更新 事業コード：10-1-1-06 事業名：下水道浸水対策の推進	4	10	1	1	4 5 6	278 279	御指摘の3事業は、いずれも本市における台風や大雨時における浸水被害の軽減に寄与する事業であり、市街地における対策として、「下水道浸水対策の推進」（事業コード：10-1-1-06）や市街地に降った雨の流出先となる河川における対策として、「治水対策施設の整備推進」（事業コード：10-1-1-04）及び「河川管理施設等の計画的な更新」（事業コード：10-1-1-05）をそれぞれ本計画に位置づけ、計画的に治水安全度の向上を図ってまいります。 各事業は、過去の浸水被害や現況施設の状況などを勘案し優先順位を整理した上で、目標指標に整備箇所や整備数を定め具体化を図っております。	素案のとおりといたします。
114	「災害に備えるまちづくりの推進」（事業コード：10-1-1-07）について、現時点で災害発生リスクについて把握をしていないのか。それについて資料内で記入してあっても良いと感じた。	4	10	1	1	7	280	御指摘の災害リスクの変化については、本市においても継続的に把握しており、ホームページで公表しているところです。 今後も、災害リスクについて、より多くの方々に知っていただけるよう努めてまいります。	素案のとおりといたします。
115	救急車の行く先はコンピュータで指示するシステムを作るべき。	4	10	1	3	7	290	現在、救急車の行き先（搬送先医療機関）については、県で整備している救急医療情報システムを活用しています。本システムは、救急車に積載しているタブレット型情報端末等で科目や症状を検索することで、救急現場から近い医療機関や受け入れの状況を表示することが可能となっております。 今後も、本システムを活用し、速やかな搬送につなげていきたいと考えております。	素案のとおりといたします。
116	（特に強力推進していただきたい事項） 301ページ 11-1-2-05 企業立地 雇用機会創出。働く場所の存在は市民に必須。	4	11	1	2	5	301	御指摘の「雇用機会の創出」については重要な視点であると考えており、本計画の「企業立地の促進」（事業コード：11-1-2-05）を位置付けております。 御指摘については、当該事業を推進する際の参考とさせていただきます。	素案のとおりといたします。
117	（特に強力推進していただきたい事項） 311ページ 11-1-5-01 商業活性化 商店街は街の顔であり、市民交流の場所。街の特質財産を駆使して活性していく。	4	11	1	5	1	311	御指摘の「街の特質財産を駆使した商店街の活性化」については重要な視点であると考えており、本計画の「地域の特色を生かした商業活性化」（事業コード：11-1-5-01）を位置付けております。 御指摘については、当該事業を推進する際の参考とさせていただきます。	素案のとおりといたします。
118	（特に強力推進していただきたい事項） 313ページ 11-2-1-01 地域資源と観光 祭り等の開催を通じて、地域の伝統文化、特産品、元氣な街の様子（スポーツなど盛んに活動している市民の姿）を伝えていく。	4	11	2	1	1	313	御指摘の「伝統文化等を伝えていくこと」については重要な視点であると考えており、本計画の「地域資源を生かした観光の振興」（事業コード：11-2-1-01）を位置付けております。 御指摘については、当該事業を推進する際の参考とさせていただきます。	素案のとおりといたします。

意見 番号	意見（概要）	該当する頁等						意見に対する市の考え方	修正等の対応
		編	章	節	施策	事業 番号	頁		
119	(特に強力推進していただきたい事項) 313ページ 11-2-1-02 MICE 国内外の各種会合に供し集客のメリットを多くの方に満足していただく。	4	11	2	1	2	313	御指摘の「MICE開催によるメリットの享受」については重要な視点であると考えており、本計画の「MICEの更なる推進」（事業コード：11-2-1-02）を位置付けております。 御指摘については、当該事業を推進する際の参考とさせていただきます。	素案のとおりといたします。
120	地域資源を生かした観光の振興（事業コード：11-2-1-01）について、宿泊者がさいたま市のどういった地域資源に対して興味を持っているか、また、滞在したことによる満足度などの調査をし、現状を把握すべき。また、調査の項目を目標指標に追加すべき。	4	11	2	1	1	313	御指摘の「宿泊者の地域資源に対する興味や満足度の現状把握」については重要な視点であると考えており、本計画の「地域資源を生かした観光の振興」（事業コード：11-2-1-01）を位置付けております。 御指摘については、当該事業を推進する際の参考とさせていただきます。	素案のとおりといたします。
121	「地域資源を生かした観光の振興」（事業コード：11-2-1-01）について、盆栽や人形に赤字を出して経済効果を目指すなら、西区の下水道のインフラ整備をより早く実施したほうがかかる予算も少なく地価の上昇にもつながり税金にもつながる。	4	11 9	2 2	1 4	1 2	313 269	御指摘の「盆栽や人形」については本市の重要な地域資源であると考えており、これらを活用し地域経済の活性化を図るため、本計画の「地域資源を生かした観光の振興」（事業コード：11-2-1-01）を位置付けております。 また、「西区の下水道のインフラ整備をより早く実施した方がよい」との御指摘につきましては、本計画に掲げる「下水道の普及推進」（事業コード：09-2-4-02）を推進する際の参考とさせていただきます。	素案のとおりといたします。
122	P.314、P.317 事業コード11-3-1-05（仮称）農業及び食の流通・観光産業拠点の整備 食の流通・観光産業拠点の整備について、2度にわたる地元説明会に出席したが、パブコメは公に意見を求めるものなのに、この計画では内容がわからないものになっているのは何故か。「宮ヶ谷塔」の名前も出てこないで、詳細がわかるように書いたものを出してほしい。 今まで地元で開催された説明会や、市長への要望書や市議会への陳情書で出た心配事、疑問や意見に対し、しっかり対応した説明を記載した事業内容を載せた上で再度パブコメを実施してほしい。	4	11	3	1	5	314 317	御指摘の「宮ヶ谷塔」や「計画の詳細」については、総合振興計画実施計画よりも専門的・具体的なものとして定める「さいたま市食肉中央卸売市場・と畜場基本計画（案）」及び「さいたま市道の駅基本計画（案）」に掲載を予定しております。 また、「パブリックコメント」につきましては、両施設の基本計画（案）に対するパブリックコメントを予定しております。	素案のとおりといたします。
123	食肉中央卸売市場・と畜場施設について、地下水を何トンくみ上げ、心配される地盤沈下に対する万全な対策をどう考えているのか。 牛・豚等の屠殺時のうめき声や、それらの入場からと殺後の処理水の放流後に至る悪臭について、どう処理して無くすという科学的証明ができていないのか。 江戸時代から続く歴史的に非常に重要な「ヤバンドン」の屋号を持つ農家とそのお墓をつぶし、そこに住む方々の心まで痛めてしまうのか。 当施設は、当地区自治会連合会の要望にはないものだし、計画で2046年以降は毎年6,000万円の黒字になると言うが、建設投入資金のための優に100億円を超える借金返済については書かれていないが何故か。	4	11	3	1	5	317	御指摘の「地盤沈下に対する万全な対策」については、地質調査を受けた造成設計を予定しております。 また、「鳴き声」や「臭い」については、密閉型の施設とすることを予定しており、住民の皆様に対しまして、今後も丁寧な説明を心掛けてまいります。 「整備費」については、収益的収支見通しと資本的収支見通しを市ホームページに掲載しております。 御指摘については、当該事業を進めるうえでの参考とさせていただきます。	素案のとおりといたします。
124	地域経済活性化拠点(以下「道の駅」)について 大型車105台、普通車280台という異常な大きさの駐車場について、その排ガス、振動、騒音などの問題対策をどう考えているのか。 治安悪化の対策をどう考えているのか。 準絶滅危惧の動物が数種いるが、それらの保護についてどう考えているのか。 台地上の屋敷地と屋敷森・足下の水田が見られる市内でも数少ない場所を潰してしまうのか。 この道の駅の運営は、計画によると年間2,600万円の赤字になり、その補填に市民の税金が使われる。当初、当地区自治会連合会の要望は、当地区にないコミュニティセンターを造ってほしいということだったので、「道の駅」の代わりに、今計画されている近接する「春おか広場」研修施設の建直しによって、充実したコミュニティセンターを造るというのはどうか。	4	11	3	1	5	317	御指摘の「環境対策」や「治安対策」については、今後、具体的な整備計画を作成する中で検討してまいります。 また、収支見通しにつきましては、市ホームページに掲載しております。 御指摘については、当該事業を進めるうえでの参考とさせていただきます。	素案のとおりといたします。

意見番号	意見（概要）	該当する頁等						意見に対する市の考え方	修正等の対応
		編	章	節	施策	事業番号	頁		
125	食肉中央卸市場・と畜場施設及び地域経済活性化拠点の稼働により、交通量が増え、さらなる渋滞が見込まれるが、通学する小、中、高校生の安全に対する対策をどう考えているのか。 対象地区は非常に軟弱な地盤で、普通の考えでは建物を建てないと思うが、それに対する万全な対策をどう考えているのか。 2019年の台風19号では、洪水が心配でたいへん不安な時を過ごしたが、宮ヶ谷塔の田んぼが多量の水を溜めてくれたのを後で知り、大変感謝した。現在それ以上の雨量を想定しないといけないが、宮ヶ谷塔田んぼに代わるだけの耐洪水機能を持つ貯水池を作れるのか。	4	11	3	1	5	317	御指摘の「交通量」については、今後、交通量調査を予定しており、調査結果を受けて、周辺道路の整備検討を予定しております。 また、「調整池」については、県条例に基づき必要対策量を整備する予定です。 御指摘については、当該事業を進めるうえでの参考とさせていただきます。	素案のとおりといたします。
126	食肉中央卸市場・と畜場施設及び地域経済活性化拠点について、現在の計画のままで、この事業によって農地は分断され、買い取られずに残った農地は更に荒廃してしまう。 真に「持続可能で魅力ある都市農業の確立」に向けた尽力をお願いしたい。	4	11	3	1	5	317	御指摘の「農地の分断」については、敷地位置を検討する中で、現存する一団農地を分断しないように「さいたま市食肉中央卸売市場・と畜場基本計画（案）」及び「さいたま市道の駅基本計画（案）」の策定を進めてまいります。 御指摘については、当該事業を進めるうえでの参考とさせていただきます。	素案のとおりといたします。
127	「自然と共存する環境未来都市」の創造を目指すことは共感しつつ、地域の文化や自然を決して壊さない、今ある資源を最優先で活かす工夫と計画であってほしい。 具体的には「（仮称）農業及び食の流通・観光産業拠点の整備」（事業コード：11-3-1-05）では、予定地の田園景観、水田、文化財を活かし、他にはない魅力ある「道の駅」建設が望ましい。 「農地の有する多面的機能の維持、発揮の活動支援」（事業コード：11-3-1-08）では遊休農地への盛土の際には他県からの土を持ち込まず、不法盛土の監視を強化する。	4	11	3	1	5 8	317 318	御指摘の「道の駅の建設」については、重要な取組であると考えており、本計画の「（仮称）農業及び食の流通・観光産業拠点の整備」（事業コード：11-3-1-05）において魅力ある施設を目指してまいります。 「農地の有する多面的機能の維持、発揮の活動支援」（事業コード：11-3-1-08）への御指摘については、多面的機能の維持、発揮が推進されるよう、遊休農地の発生防止に取組んでまいります。	素案のとおりといたします。
128	事業コード 51-1-1-01 事業名 民間企業と連携した情報の発信 記載に賛同する。本施策の推進に当たっては、特に災害等の発生時における各ライフライン関係企業との連携による情報伝達体制の強化を図り、より迅速で正確な対応状況等の周知を図られるよう要望します。	4	51	1	1	1	325	御指摘のとおり、災害発生時の情報伝達体制の強化は重要であると認識しております。 いただいた御意見については、本市の防災部門とも共有したうえで、今後の災害発生時の情報伝達体制の在り方の検討の参考とさせていただきます。	素案のとおりといたします。
129	広報・広聴機能の充実について、今回のパブリックコメント募集も締切日の今日個人のツイートを見て知ったので、強化してほしい。	4	52	1	1	3	338 340	御指摘の点は重要な視点であると考えており、「市民に信頼される広聴機能の充実」（事業コード52-1-1-03）として位置付けております。 御指摘については、事業を推進する際の参考とさせていただきます。	素案のとおりといたします。
130	市民への情報共有手段として、市からのお知らせや閲覧板があるが、IT技術を利用した手段はないか。 インターネットにアクセスできる人は限られているが、テレビはほとんどの人が見られると思うので、テレビを活用した広報手段を検討できないか。	4	52	1	1	1	339	御指摘のIT技術等、多様な手段を用いた広報は、重要な視点であると考えており、本計画においては「市民に分かりやすい情報発信」（事業コード：52-1-1-01）として関連する事業を位置付けております。 御指摘については、これらの事業を推進する際の参考とさせていただきます。	素案のとおりといたします。
131	病院や水道を黒字にすると考えることには反対。病院は健康・医療の基本、水道は公衆衛生の基本。両方とも人間が生きていく上での基本となるものだから、無駄はいけなくても営利を追求して市民の健康が守れなくなるのは困る。	4	52	2	2	1 3	357 358	御指摘の点は重要な視点だと考えており、本計画においては「水道事業の健全運営」（事業コード：52-2-2-01）及び「病院事業の健全運営」（事業コード：52-2-2-03）として関連する事業を位置付けております。 御意見については、これらの事業を推進する際の参考とさせていただきます。	素案のとおりといたします。
132	「女性管理職の積極的登用」をまず施策に入れるべき。審議委員に女性をいくら増やしても、執行部に女性がいなくては何にもならない。女性が管理職を目指すように、庁舎内の働き方の改革を求める。 男女共同参画基本計画に書かれることと思うが、総合計画に入れれば、さらにジェンダー平等が進む。	4	52	3	2	2	365	御指摘の点は、重要な視点であると考えており、本計画においては「働きやすさと働きがいの向上のための人事諸制度の推進」（事業コード：52-3-2-02）として関連する事業を位置付けております。 御指摘については、事業を推進する際の参考とさせていただきます。	素案のとおりといたします。

意見 番号	意見（概要）	該当する頁等						意見に対する市の考え方	修正等の対応
		編	章	節	施策	事業 番号	頁		
133	コロナ禍で露呈した行政サービスの非効率化の課題は、本来国として解決していくものだが、本市もSociety5.0の実現も視点としてあり、実現するためのハード（機器等の整備）・ソフト（市職員のレベルアップ）も必要。ＩＣＴ化による効率化は個人のプライバシーや情報の漏洩に細心の注意が必要。	4	52	4	1	3 4	368	御指摘の行政サービスの効率化の点は、重要な視点であると考えており、本計画においては「情報システムの最適化」（事業コード：52-4-1-03）及び「ＩＣＴを活用できる人材の育成」（事業コード：52-4-1-04）として関連する事業を位置付けております。御指摘については、これらの事業を推進する際の参考とさせていただきます。	素案のとおりといたします。
134	「ＩＣＴを活用できる人材の育成」（事業コード：52-4-1-04）について、目標が研修理解度の現状維持とのことだが、これは主観のアンケート結果のようなものなのか。ＩＣＴ関連の資格所有者を増やすなど、客観的な指標を設け、実際にＩＣＴに詳しい職員の方に企画を担当してもらいたい。各種手続きのデジタル化に期待している。	4	52	4	1	4	368	ＩＣＴに関する高度な専門知識を有する職員の増加により、ＩＣＴを活用した政策立案等が効果的に行われることが期待されるため、御指摘のとおり、職員のスキルなどの現状を客観的な指標により把握することは望ましいものと考えております。他方、研修内容については、新規導入のＩＣＴツールやＩＣＴ活用事例などを含むものとなっており、こうした内容も含め、継続的に客観性を担保してスキル測定を行う仕組みの構築には、コストも含め一定の課題があることも事実です。従って、本計画ではＩＣＴに係る研修の理解度については、受講者による主観的なアンケートを数値化し算出することとしています。御指摘については今後の検討課題とさせていただきます。	素案のとおりといたします。
135	さいたま都民を市政に取り込むため、子どもがいる世帯には保育園、幼稚園、学校を。その他の世帯には各種イベントでのＰＲが必要だと感じた。	4	52	6	1	2	375	御指摘の点は重要な視点だと考えており、本計画においては「効果的なシティセールスの展開」（事業コード：52-6-1-02）を位置付けております。御意見については、これらの事業を展開する上での参考とさせていただきます。	素案のとおりといたします。
136	事業計画が膨大で読み切れない。項目別にもリンクがついていない。市民が簡単に読める程度の概略を示すべき。	全般	-	-	-	-	-	市民や事業者等、地域で活動する多様な主体に対して示す計画として、分かりやすい表記とすることは重要であると考えております。本計画の冊子化に当たっては、見出しを充実させるなど、読みやすい計画となるよう留意いたします。	御指摘を参考に計画を作成してまいります。
137	基本的なとりまとめの方法（重点戦略と計画事業）・進め方（ＰＤＣＡによる進捗管理）及び現在第一に取り組まねばならない新型コロナウイルス対応への考え方は、この案のままで了解と考える。	全般	-	-	-	-	-	素案の内容をもとに、総合振興計画 実施計画を作成してまいります。	素案のとおりといたします。
138	ＳＤＧｓ 未来都市を掲げている当市としては、各事業とＳＤＧｓ 目標・各事業と計測のほかに総合性として計測されにくい（例：文化的な物）ものと事業についての評価についても十分な議論が必要である。	全般	-	-	-	-	-	計画の進行管理において実施する事業評価については、ＳＤＧｓ に特化したものではなく、御指摘にあるような総合性として計測されにくい事業についても定性的な評価が適切に行われるように工夫してまいります。	素案のとおりといたします。
139	街づくりに真剣に取り組む気持ちがあるのと、街づくりの実力があって結果も出せるのは別のこと。道具や建物にこだわっても、それを使う人間を徹底的に訓練しないと、その道具や建物が凶器になる。人間教育を徹底すれば、道具や建物の性能を最大限に発揮できる。優れた道具や建物を並べただけでは、良い街はできない。	全般	-	-	-	-	-	御指摘のまちづくりの取組については、重要な視点であると考えており、総合振興計画基本計画で掲げる２つの将来都市像の実現に向け、市と多様な主体が協働・連携し、社会や地域の課題について効果的に取り組むことでまちづくりを進めてまいります。御意見については、まちづくりを推進する際の参考とさせていただきます。	素案のとおりといたします。

意見 番号	意見（概要）	該当する頁等						意見に対する市の考え方	修正等の対応
		編	章	節	施策	事業 番号	頁		
140	自分をほめてくれた人間を基準に仕事をすると、無制限にどこまでも間違っていく。「自分に関する本音を言ってください」と頼んでも、本当のことを言ってもらえないのが普通。 人間の本音を聞き出す技術に優れた人間は、対面で質問する際も、アンケートをとるにしても、他の手段でも、全く違うことをやる。間違っても相手に向かって「自分に対する本音を言ってください」とは、やらない。	全般	-	-	-	-	-	御指摘の市民意見の聴取方法については、重要な視点であると考えており、本計画の策定に当たっては、郵送による市民アンケートに以外にも、市民ワークショップ、市長自ら市民の皆様の御意見を伺うタウンミーティング、各区ごとに設置した区検討懇話会などの様々な機会を設けてまいりました。 今後の進行管理におきましても、市民の皆様の御意見を伺っていくことは非常に重要であると考えておりますので、計画の進行管理手法として、市民参加による評価等を行うことを予定しております。 御意見については、それらの取組を進める上での参考とさせていただきます。	素案のとおりといたします。
141	桜区をさいたま市のリゾート地と位置づけし整備してほしい。 荒川沿いや、桜区役所付近に軽井沢のようなリゾート感ある街づくりをしていき、例えば天王洲アイルのTYハーバーのような複合施設を誘致してほしい。	全般	-	-	-	-	-	総合振興計画基本計画では、本市が目指す将来都市構造として、「水と緑に囲まれたコンパクト＋ネットワーク型の都市構造」を位置付けており、桜区の将来像としては、「三代代がつくる元気なまちー自然があふれ、人々が触れ合う住みよい環境ー」を掲げております。 この将来像の実現に向け、区内の地域資源を生かし、子どもから高齢者まで全ての区民が生き生きと活動でき、住み続けたいと思えるまちづくりを進めてまいります。 御指摘については、その際の取組の参考とさせていただきます。	素案のとおりといたします。
142	自転車の利用拡大について、うらわ美術館にも自転車置き場がほしい。	全般	-	-	-	-	-	御指摘の「うらわ美術館の自転車置き場」につきましては、うらわ美術館が入居している複合施設（センチュリーシティビル北側）の有料駐輪場（60分無料）が令和2年8月1日に設置されましたので、皆様にご利用いただけるようになっております。	素案のとおりといたします。
143	全体的に市として取り組まなくてはならないことは、人づくりだと感じた。	全般	-	-	-	-	-	御指摘の「人づくり」については、非常に重要な視点であると考えており、総合振興計画基本計画において「関係人口」創出による地域の活力維持や多様な人材の地域づくりへの参画等を地方創生の観点から位置付けております。 御意見を参考にしながら、これらの取組を進めてまいります。	素案のとおりといたします。
144	さいたま市は、誰もが住みよいまち、住み続けたいまち、住みたいと思われるまち、市民満足度90%以上を目指している。 この「誰もが」とは、障害福祉部局では「子どもから高齢者や障害者」を指しているが、都市整備・計画部局では「子どもから高齢者」とされていることがほとんどで、障害者は含まれていない。このような縦割りをなくすことができれば、「住みたい」、「住み続けたい」と思われることが増えると思う。	全般	-	-	-	-	-	御指摘の点について、本計画では、様々な課題の統合的解決等を図るため、例えば「6章 福祉」の分野の「だれもが住みよい福祉のまちづくりの推進」（事業コード：06-2-1-08）を「9章 都市インフラ」の分野にも再掲することなどにより、分野横断的な視点を踏まえた取組を推進することとしております。 また、都市局を含め本市では、生活関連施設の整備等に当たっては、さいたま市だれもが住みよい福祉のまちづくり条例を踏まえ、障害者を含めた全ての人を対象としているところであり、引き続き同条例に基づく取組を推進してまいります。	素案のとおりといたします。
145	全体として横文字（カタカナ文字）が多く、理解するのに苦労する。もっと簡単な文面で紹介していただくと、市民はきちんと読んで意見が言えると思う。 仕事のように読み込んでいかなければ、意見はなかなか書くのに苦労すると思った。意見がないから了解しているというのは間違っていると思う。	全般	-	-	-	-	-	市民や事業者等、地域で活動する多様な主体に対して示す計画として、分かりやすい表記とすることは重要であると考えております。 本計画の冊子化に当たっては、分かりにくい語には用語解説を設けるなど、読みやすい計画となるよう留意いたします。 また、今後のパブリック・コメントの実施に当たりましても、理解しやすい資料作成等を心掛けてまいります。	御指摘を参考に計画を作成してまいります。
146	ポイント毎に見たが、大変綿密に計画（素案）が練られていると判断する。案のとおりでよい。	全般	-	-	-	-	-	素案の内容をもとに、総合振興計画 実施計画を作成してまいります。	素案のとおりといたします。

意見 番号	意見（概要）	該当する頁等						意見に対する市の考え方	修正等の対応
		編	章	節	施策	事業 番号	頁		
147	実施する側（行政）にとって進捗状況が分かるように組み立てられている。 項目がすぐわかるようになっている。ある事業について、事業コードで調べればすぐ見いだせる。	全般	-	-	-	-	-	素案の内容をもとに、総合振興計画 実施計画を作成してまいります。	素案のとおりといたします。
148	窓口業務の一つひとつは市民にとって大変重要であるが、業務に携わっている人たちが、この基本・実施計画のどのところで仕事をしているか、理解できているのか。	全般	-	-	-	-	-	御指摘のとおり市政に携わる職員一人ひとりが本計画の意義等を理解しながら業務に従事することは重要であると考えており、新規採用時や昇任時の機会を通じて計画行政に関する研修を実施するなどの取組を行っているところです。 御指摘を踏まえ、引き続き取組を推進してまいります。	素案のとおりといたします。
149	事業を施行する際に「見積」「入札」が行われているが、「予算」ありきで、工事や納入品などの中身が優れているかの詳細な検討がなされているのか疑問に感じる事がある。 入札の価格と内容の検討・決定は是非専門の方々が携わり、貴重な予算を生かしてほしいと思う。	全般	-	-	-	-	-	公共事業における価格につきましては、積算基準に基づき適正に算定しているほか、市場価格、取引の実例価格、刊行物等を活用して決定しております。 また、一部の入札におきましては、技術力等の価格以外を評価して事業者を選定する総合評価方式やプロポーザル方式を採用し、外部の専門家の意見を聴いております。 引き続き、予定価格の適正な設定と品質確保に努めてまいります。	素案のとおりといたします。
150	PCR検査より血中酸素濃度測定器の配布をしてほしい。指先を挟むだけで測れて2千円くらいだから各戸に1台配ることも市の予算の0.1%で可能である。 自宅待機やホテル住まいの患者も常時測定し、無線でコンピュータに集めて管理するシステムを作れば、それを見る医療関係者の数を減らせる。 指先では感覚が鈍い恐れがあるから、動脈血を採血して測る装置の開発も必要である。	全般	-	-	-	-	-	御指摘の血中酸素濃度測定器の配布につきましては、自宅療養者のいる世帯全戸に配布し健康観察に活用しております。 個別具体的な取組への御指摘については、今後の行政運営に生かせるよう努めてまいります。	素案のとおりといたします。
151	通勤途上や飲食店での感染防止対策として、積極的にコロナウイルスを殺す対策が必要だ。 電車内の除菌、エアコンに殺菌装置を取り付けて空気を浄化、飲食店には紫外線殺菌灯を設置して調味料入れ、トンブ、スプーンを殺菌、トイレは自動ドア、手洗いも自動に、エスカレータの手すりやリターン中に殺菌灯で殺菌、エレベーターの中も押しボタンも同様な対策が必要。 大学と共同して必要な仕様を作成して、飲食店に実施させるべき。	全般	-	-	-	-	-	新型コロナウイルス感染症については、目下、喫緊に対応しなければならない課題であると認識しておりますので、引き続き関連する取組を進めてまいります。 個別具体的な取組への御指摘については、関係機関とも必要な連携を図りながら、今後の行政運営に生かせるよう努めてまいります。	素案のとおりといたします。
152	自衛隊員を活用し、コロナ患者の見取りをさせるべき。	全般	-	-	-	-	-	個別具体的な取組への御指摘については、今後の行政運営の参考とさせていただきます。	素案のとおりといたします。
153	トップにまじな人材を任命すべき。これが一番大事である。	全般	-	-	-	-	-	御意見については、今後の行政運営の参考とさせていただきます。	素案のとおりといたします。

目標指標の実績値の更新等に伴う修正について (1/8)

<件数：37件>

参考 2

項番	ページ	コード	事業・施策名	修正前	修正後
1	79	01-1-1-03	セミナーによる 地域人材の育成	【目標指標(1)「参加者の満足度」】 <実績> 90%（令和元年度）	【目標指標(1)「参加者の満足度」】 <実績> 90%（令和2年度）
2	122	03-1-1-06	健康マイレージ の拡大	【目標指標(2)「参加者のうち500ポイント以上獲得した者の割合」】 <実績> <u>21.5%</u> （令和元年度） <各年度の目標> 令和3年度 <u>23.5%</u> 令和4年度 <u>24.5%</u> 令和5年度 <u>25.5%</u> 令和6年度 <u>26.5%</u> 令和7年度 <u>27.5%</u> <計画期間最終目標> 令和7年度までに <u>27.5%</u>	【目標指標(2)「参加者のうち500ポイント以上獲得した者の割合」】 <実績> <u>22.7%</u> （令和2年度） <各年度の目標> 令和3年度 <u>23.7%</u> 令和4年度 <u>24.7%</u> 令和5年度 <u>25.7%</u> 令和6年度 <u>26.7%</u> 令和7年度 <u>27.7%</u> <計画期間最終目標> 令和7年度までに <u>27.7%</u>
3	136	04-1-1-04	「さいたま市 小・中一貫教 育」の推進	【目標指標(1)「小学校高学年教科担任制の実施校数」】 <実績> 0校（令和元年度）	【目標指標(1)「小学校高学年教科担任制の実施校数」】 <実績> 0校（令和2年度）
4	142	04-1-2-05	特別支援教育の 推進	【目標指標(1)「発達障害・情緒障害通級指導教室の新増設数」】 <実績> 1教室（令和元年度）	【目標指標(1)「発達障害・情緒障害通級指導教室の新増設数」】 <実績> 1教室（令和2年度）

目標指標の実績値の更新等に伴う修正について (2/8)

項番	ページ	コード	事業・施策名	修正前	修正後
5	142	04-1-2-06	グローバル人材を育成する中等教育学校の整備	【目標指標(1)「後期課程校舎の整備」】 <実績> 二	【目標指標(1)「後期課程校舎の整備」】 <実績> <u>既存校舎の解体（令和2年度）</u>
6	142	04-1-2-06	グローバル人材を育成する中等教育学校の整備	【目標指標(1)「国際バカロレアMYP及びDPの認定」】 <実績> <u>MYP候補校申請（令和元年度）</u>	【目標指標(1)「国際バカロレアMYP及びDPの認定」】 <実績> <u>DP候補校認定（令和2年度）</u>
7	142	04-1-2-06	グローバル人材を育成する中等教育学校の整備	【目標指標(3)「国際バカロレアのワークショップ(MYP)への累積参加者数」】 <実績> <u>14名（令和元年度）</u> <各年度の目標> 令和3年度 5名 (<u>22</u> 名) 令和4年度 3名 (<u>25</u> 名) 令和5年度 3名 (<u>28</u> 名) 令和6年度 3名 (<u>31</u> 名) 令和7年度 3名 (<u>34</u> 名) <計画期間最終目標> 令和7年度までの5年間の累計で <u>34</u> 名	【目標指標(3)「国際バカロレアのワークショップ(MYP)への累積参加者数」】 <実績> <u>24名（令和2年度）</u> <各年度の目標> 令和3年度 5名 (<u>29</u> 名) 令和4年度 3名 (<u>32</u> 名) 令和5年度 3名 (<u>35</u> 名) 令和6年度 3名 (<u>38</u> 名) 令和7年度 3名 (<u>41</u> 名) <計画期間最終目標> 令和7年度までの5年間の累計で <u>41</u> 名
8	147	04-1-3-02	図書館を通じた生涯学習環境整備の推進	【目標指標(1)「図書館の利用に関するアンケートにおいて「満足」・「やや満足」と答えた利用者の割合」】 <実績> <u>90.9%</u> （令和元年度） <各年度の目標> 令和3年度 <u>91.0</u> %	【目標指標(1)「図書館の利用に関するアンケートにおいて「満足」・「やや満足」と答えた利用者の割合」】 <実績> <u>91.3%</u> （令和2年度） <各年度の目標> 令和3年度 <u>91.5</u> %

目標指標の実績値の更新等に伴う修正について (3/8)

項番	ページ	コード	事業・施策名	修正前	修正後
9	148	04-1-3-04	博物館・美術館・科学館を通じた生涯学習環境整備の推進	【目標指標(2)「市民の多種多様なニーズに応え、美術館に来館するきっかけにつながるイベント企画の件数」】 ＜実績＞ 1件（令和元年度）	【目標指標(2)「市民の多種多様なニーズに応え、美術館に来館するきっかけにつながるイベント企画の件数」】 ＜実績＞ 2件（令和2年度）
10	158	04-1-5-03	学校のリフレッシュ計画及び学校トイレの洋式化等の推進	【目標指標(1)「学校施設リフレッシュ基本計画に基づいた改修・建替えに着手」】 ＜実績＞ 0校（令和元年度）	【目標指標(1)「学校施設リフレッシュ基本計画に基づいた改修・建替えに着手」】 ＜実績＞ 2校（令和2年度）
11	183	06-2-1-04	障害者の相談支援体制の強化	【目標指標(1)「基幹相談支援センターの設置」実績欄】 ＜実績＞ 2ヶ所（令和元年度）	【目標指標(1)「基幹相談支援センターの設置」実績欄】 ＜実績＞ 3ヶ所（令和2年度）
12	186	06-2-1-09	精神障害者を支える地域包括ケアシステムの構築	【目標指標(1)「訪問支援（アウトリーチ）実施区」】 ＜実績＞ 2区で実施（令和元年度）	【目標指標(1)「訪問支援（アウトリーチ）実施区」】 ＜実績＞ 2区で実施（令和2年度）
13	193	06-3-1-01	地域医療体制の充実	【目標指標(1)地域医療に関する普及啓発】 ＜実績＞ 啓発品の配布、研修会の開催（令和元年度）	【目標指標(1)地域医療に関する普及啓発】 ＜実績＞ 啓発品の配布、研修会の開催（令和2年度）
14	193	06-3-1-02	感染症対策の充実	【目標指標(1)「流行状況に即した感染予防対策の普及啓発、情報発信」】 ＜実績＞ 疾病の理解や感染予防対策の普及啓発（市報、SNS、サイネージ、ポスター、啓発品の配布）（令和元年度）	【目標指標(1)「流行状況に即した感染予防対策の普及啓発、情報発信」】 ＜実績＞ 疾病の理解や感染予防対策の普及啓発（※1）（令和2年度）

目標指標の実績値の更新等に伴う修正について（4/8）

項番	ページ	コード	事業・施策名	修正前	修正後
15	201	07-1-2-01	保育需要の受け皿及び保育人材の確保	【目標指標(2)「子育て支援枠の人数」】 <実績> 822人（令和元年度） <各年度の目標> 令和3年度 1,095人 令和4年度 1,230人 令和5年度 1,365人 令和6年度 1,500人 令和7年度 1,640人 <計画期間最終目標> 令和7年度までの5年間で818人増	【目標指標(2)「子育て支援枠の人数」】 <実績> 1,265人（令和2年度） <各年度の目標> 令和3年度 1,409人 令和4年度 1,553人 令和5年度 1,697人 令和6年度 1,841人 令和7年度 1,986人 <計画期間最終目標> 令和7年度までの5年間で721人増
16	204	07-1-2-06	子ども・家庭、地域の子育て機能の総合支援	【目標指標(1)「総合相談窓口利用者のうち親身に相談乗ってくれたと回答した人の割合」】 <実績> 97.5%（令和元年度）	【目標指標(1)「総合相談窓口利用者のうち親身に相談乗ってくれたと回答した人の割合」】 <実績> 98.5%（令和2年度）
17	207	07-1-3-02	児童虐待対策の充実	【目標指標(1)「子ども虐待防止フォーラム参加者のうち参考になったと回答した人の割合」】 <実績> 82.3%（令和元年度）	【目標指標(1)「子ども虐待防止フォーラム参加者のうち参考になったと回答した人の割合」】 <実績> 94.6%（令和2年度）
18	229	09-1-1-03	市街地開発事業の推進（副都心）	【目標指標(1)「武蔵浦和駅第7—1街区」】 <実績> 勉強会の開催1回（令和元年度）	【目標指標(1)「武蔵浦和駅第7—1街区」】 <実績> 勉強会の開催2回（令和2年度）
19	229	09-1-1-03	市街地開発事業の推進（副都心）	【目標指標(2)「武蔵浦和駅第8—2街区」】 <実績> 地元との調整（準備組合との打合せ）8回（令和元年度）	【目標指標(2)「武蔵浦和駅第8—2街区」】 <実績> 地元との調整（準備組合との打合せ）10回（令和2年度）

目標指標の実績値の更新等に伴う修正について (5/8)

項番	ページ	コード	事業・施策名	修正前	修正後
20	238	09-1-3	広域的な交通施策の推進	【成果指標2「さいたま市の交通の利便性に関する満足度」】 <実績> 61.8%（令和元年度）	【成果指標2「さいたま市の交通の利便性に関する満足度」】 <実績> 57.8%（令和2年度）
21	239	09-1-3-02	広域的な交通アクセスの強化	【目標指標(2)「さいたま新都心バスターミナルの高速バス利用便数増加」】 <実績> 利用便数20便（令和2年11月末時点）	【目標指標(2)「さいたま新都心バスターミナルの高速バス利用便数増加」】 <実績> 利用便数20便（令和3年1月末時点）
22	240	09-1-3-03	東西交通大宮ルート	【目標指標(1)「東西交通大宮ルートの検討」】 <実績> 東西交通専門部会の開催（令和2年度）	【目標指標(1)「東西交通大宮ルートの検討」】 <実績> 東西交通専門部会の開催（令和元年度）
23	245	09-2-1-01	個性豊かで魅力ある良好な都市景観形成の推進	【目標指標(2)「個性豊かで魅力ある良好な景観形成に向けた地域ルール の作成支援」】 <実績> 事業調整（令和元年度）	【目標指標(2)「個性豊かで魅力ある良好な景観形成に向けた地域ルール の作成支援」】 <実績> 事業調整（令和2年度）
24	256	09-2-2-08	マンション管理適正化の推進	【目標指標(2)「マンション管理組合の適正管理への新たな支援策の実施」】 <実績> 40団地ヒアリング調査（令和元年度）	【目標指標(2)「マンション管理組合の適正管理への新たな支援策の実施」】 <実績> 40団地ヒアリング調査（令和2年度）
25	257	09-2-2-10	市営住宅建替の推進	【目標指標(1)「市営住宅の建替整備（浮谷住宅）」】 <実績> 建設工事仮契約締結（令和2年度）	【目標指標(1)「市営住宅の建替整備（浮谷住宅）」】 <実績> 建設工事契約締結（令和2年度）

目標指標の実績値の更新等に伴う修正について（6/8）

項番	ページ	コード	事業・施策名	修正前	修正後
26	263	09-2-3-03	公共交通のバリアフリー化推進	【目標指標(1)「バリアフリー設備の補助」】 <実績> 南浦和駅・北浦和駅（京浜東北線ホーム）のホームドア設置完了（令和元年度）	【目標指標(1)「バリアフリー設備の補助」】 <実績> 与野駅のホームドア設置完了（令和2年度）
27	264	09-2-3-06	自転車利用環境の向上	【目標指標(3)「放置自転車台数（市内全駅・秋季平日午前11時調査）」】 <実績欄> 286台（令和元年度） <各年度の目標> 令和3年度 276台	【目標指標(3)「放置自転車台数（市内全駅・秋季平日午前11時調査）」】 <実績欄> 214台（令和2年度） <各年度の目標> 令和3年度 209台
28	285	10-1-2-05	防災訓練を通じた災害対応力の更なる強化	【目標指標(1)「避難所運営訓練参加者数」】 <実績> 11,746人（令和元年度）	【目標指標(1)「避難所運営訓練参加者数」】 <実績> 3,646人（令和2年度）
29	288	10-1-3-04	火災予防対策の推進	【目標指標(2)「講習会参加者の満足度」】 <実績> 80%（令和元年度）	【目標指標(2)「講習会参加者の満足度」】 <実績> 83%（令和2年度）
30	310	11-1-5	商業活性化のためのにぎわいづくり	【成果指標1「商店街に魅力を感じる人の割合」】 <実績> 令和3年1月実施予定の市民アンケートにおいて集計算出する。 <各年度の目標> 令和7年度 令和12年度 令和3年1月実施予定の市民アンケートにおいて集計算出する。	【成果指標1「商店街に魅力を感じる人の割合」】 <実績> 28.7%（令和2年度） <各年度の目標> 令和7年度 34% 令和12年度 39%

目標指標の実績値の更新等に伴う修正について（7/8）

項番	ページ	コード	事業・施策名	修正前	修正後
31	317	11-3-1-05	（仮称）農業及び食の流通・観光産業拠点の整備	【目標指標(1)「食肉中央卸売市場・と畜場移転再整備の事業進捗」】 <実績> 基本計画の検討（令和元年度）	【目標指標(1)「食肉中央卸売市場・と畜場移転再整備の事業進捗」】 <実績> 基本計画の検討（令和 $\underline{2}$ 年度）
32	317	11-3-1-05	（仮称）農業及び食の流通・観光産業拠点の整備	【目標指標(2)「地域経済活性化拠点整備の事業進捗」】 <実績> 基本計画の検討（令和元年度）	【目標指標(2)「地域経済活性化拠点整備の事業進捗」】 <実績> 基本計画の検討（令和 $\underline{2}$ 年度）
33	331	51-1-2-02	NPO法人の設立支援	【目標指標(1)「セミナー参加者の満足度」】 <実績> 90%（令和元年度）	【目標指標(1)「セミナー参加者の満足度」】 <実績> 90%（令和 $\underline{2}$ 年度）
34	334	51-1-2-07	PFI手法等の導入	【目標指標(1)「食肉中央卸売市場・と畜場移転再整備、地域経済活性化拠点整備の事業進捗」】 <実績> 基本計画の検討（令和元年度）	【目標指標(1)「食肉中央卸売市場・と畜場移転再整備、地域経済活性化拠点整備の事業進捗」】 <実績> 基本計画の検討（令和 $\underline{2}$ 年度）
35	348	52-2-1-01	事務事業の見直しによる健全財政の維持	【5年間の財政効果額】 <u>6,750,000</u> 千円	【5年間の財政効果額】 <u>10,500,000</u> 千円

目標指標の実績値の更新等に伴う修正について（8/8）

項番	ページ	コード	事業・施策名	修正前	修正後
36	348	52-2-1-01	事務事業の見直しによる健全財政の維持	【目標指標(1)「財政収支に関する中期試算に基づく各年度における収支不足額の解消」】 ＜実績＞ 181億円（令和2年度予算編成時） ＜各年度の目標＞ 令和3年度 170億円（令和4年度収支不足額） 令和4年度 138億円（令和5年度収支不足額） 令和5年度 176億円（令和6年度収支不足額） 令和6年度 214億円（令和7年度収支不足額） 令和7年度 171億円（令和8年度収支不足額）	【目標指標(1)「財政収支に関する中期試算に基づく各年度における収支不足額の解消」】 ＜実績＞ 170億円（令和3年度予算編成時） ＜各年度の目標＞ 令和3年度 146億円（令和4年度収支不足額） 令和4年度 152億円（令和5年度収支不足額） 令和5年度 160億円（令和6年度収支不足額） 令和6年度 153億円（令和7年度収支不足額） 令和7年度 144億円（令和8年度収支不足額）
37	348	52-2-1-01	事務事業の見直しによる健全財政の維持	【目標指標(2)「当初予算編成時において収支不足額を解消」】 ＜実績＞ 467,313千円（令和2年度予算編成時） ＜各年度の目標＞ 令和3年度 450,000千円 令和4年度 450,000千円 令和5年度 450,000千円 令和6年度 450,000千円 令和7年度 450,000千円 ＜計画期間最終目標＞ 令和7年度まで毎年度見直し額450,000千円を維持	【目標指標(2)「当初予算編成時において収支不足額を解消」】 ＜実績＞ 693,927千円（令和3年度予算編成時） ＜各年度の目標＞ 令和3年度 700,000千円 令和4年度 700,000千円 令和5年度 700,000千円 令和6年度 700,000千円 令和7年度 700,000千円 ＜計画期間最終目標＞ 令和7年度まで毎年度見直し額700,000千円を維持

【実施計画】

推進本部会議【幹事会】（1/29）



推進本部会議【本部会議】（2/1） ※実施計画策定



実施計画策定報告（2/12）
（総合政策委員会のみで報告を予定）



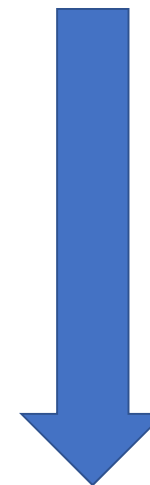
製本・配布に向けた全庁照会（2月下旬予定）



実施計画書議会配布
（基本計画と同時配布を予定）

【基本計画】

デザイン校正
全庁照会



全庁照会〆切
（2/10予定）



最終校正
（2/19頃）



基本計画
議会配布
（3/18予定）